

資料編

◆疾患群別疾病分類表

※ ここに掲げているのは難病情報センター臨床調査研究分野の対象疾患 130 疾患です。

疾患群	疾病名
血液系疾患	再生不良性貧血、溶血性貧血 (1) 自己免疫性溶血性貧血、(2) 発作性夜間ヘモグロビン尿症、不応性貧血 (骨髄異形成症候群)、骨髄線維症、特発性血栓症、特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP)、原発性免疫不全症候群
免疫系疾患	大動脈炎症候群 (高安動脈炎)、バージャー病 (ビュルガー病)、結節性動脈周囲炎 (1)結節性多発動脈炎、(2)顕微鏡的多発血管炎、ウェゲナー肉芽腫症、アレルギー性肉芽腫性血管炎 (チャグ・ストラウス症候群)、悪性関節リウマチ、側頭動脈炎、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、シェーグレン症候群、成人スティル病、ベーチェット病、抗リン脂質抗体症候群
内分泌系疾患	ビタミンD受容機構異常症、甲状腺ホルモン不応症、TSH 受容体異常症、下垂体性 TSH 分泌異常症、偽性副甲状腺機能低下症、PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、原発性アルドステロン症、副腎低形成(アジソン病)、グルココルチコイド抵抗症、副腎酵素欠損症、偽性低アルドステロン症、中枢性摂食異常症、下垂体機能低下症、クッシング病、先端巨大症
代謝系疾患	原発性高脂血症、家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)、アミロイドーシス
神経・筋疾患	プリオン病 (1) クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)、(2) ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病 (GSS)、(3) 致死性家族性不眠症 (FFI)、亜急性硬化性全脳炎 (SSPE)、進行性多巣性白質脳症 (PML)、脊髄小脳変性症、パーキンソン病関連疾患 (1)進行性核上性麻痺、(2)大脳皮質基底核変性症、(3)パーキンソン病 ※ 2003年10月1日よりパーキンソン病に進行性核上性麻痺及び大脳皮質基底核変性症を加え、「パーキンソン病関連疾患」と疾患名が変更されました。 筋萎縮性側索硬化症(ALS)、脊髄性筋萎縮症、 ※ 2009年10月より脊髄性進行性筋萎縮症から疾患名が変更されました。 球脊髄性筋萎縮症、多系統萎縮症 (1)線条体黒質変性症、(2)オリーブ橋小脳萎縮症、(3)シャイ・ドレーガー症候群 ※ 2003年10月1日よりシャイ・ドレーガー症候群に線条体黒質変性症及びオリーブ橋小脳萎縮症 (脊髄小脳変性症から移行) を加え、「多系統萎縮症」と疾患名が変更されました。 副腎白質ジストロフィー、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、フィッシャー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多巣性運動ニューロパチー (ルイス・サムナー症候群)、ハンチントン病、単ク

	ローン抗体を伴う末梢神経炎（クロウ・フカセ症候群）、正常圧水頭症、モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）、ペルオキシソーム病、ライソゾーム病（ファブリー病を除く）、脊髄空洞症、原発性側索硬化症、有棘赤血球を伴う舞蹈病、HTLV-1 関連脊髄症（HAM）、ミトコンドリア病
視覚系疾患	網膜色素変性症、加齢黄斑変性、難治性視神経症
聴覚・平衡機能系疾患	メニエール病、遅発性内リンパ水腫、突発性難聴、特発性両側性感音難聴
循環器系疾患	肥大型心筋症、特発性拡張型（うっ血型）心筋症、拘束型心筋症、ミトコンドリア病、ライソゾーム病（ファブリー病）、家族性突然死症候群
呼吸器系疾患	特発性間質性肺炎、サルコイドーシス、びまん性汎細気管支炎、若年性肺気腫、リンパ脈管筋腫症（LAM） ※ 2009年10月より肺リンパ脈管筋腫症から疾患名が変更されました。 ランゲルハンス細胞組織球症（ヒスチオサイトーシスX）、肥満低換気症候群、肺泡低換気症候群、肺動脈性肺高血圧症 ※ 2009年10月より原発性肺高血圧症から疾患名が変更されました。 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 ※ 2009年10月より特発性慢性肺血栓塞栓症から疾患名が変更されました。
消化器系疾患	潰瘍性大腸炎、クローン病、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、難治性の肝炎のうち劇症肝炎、特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症、バット・キアリ症候群、肝内結石症、肝内胆管障害（原発性硬化性胆管炎等）、慢性膵炎、重症急性膵炎、膵嚢胞線維症
皮膚・結合組織疾患	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）、膿疱性乾癬、天疱瘡、強皮症、好酸球性筋膜炎、重症多形滲出性紅斑（急性期）、硬化性萎縮性苔癬、混合性結合組織病、神経線維腫症Ⅰ型（レックリングハウゼン病）、神経線維腫症Ⅱ型、結節性硬化症（プリングル病）、色素性乾皮症（XP）、先天性魚鱗癬様紅皮症
骨・関節系疾患	後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症、前縦靭帯骨化症、特発性大腿骨頭壊死症、特発性ステロイド性骨壊死症、広範脊柱管狭窄症、進行性骨化性線維異形成症（FOP）
腎・泌尿器系疾患	IgA 腎症、急速進行性糸球体腎炎、難治性ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎

◆質的調査（インタビュー調査）の詳細

1. 各調査班からの報告

グループ1. 大塚福祉作業所

1. インタビューの紹介

施設名／種別	大塚福祉作業所、就労移行支援・就労継続B型
日時	2013年9月11日・12日 13:30~15:00
対象者	Aさん(20代・女)、Bさん(20代・女)、Cさん(20代・女)、 Dさん(20代・男)、Eさん(20代・男)、Fさん(20代・男)、 Gさん(30代・女)、Hさん(30代・女)、Iさん(30代・女)、 Jさん(30代・女)、Kさん(40代・女)、Lさん(40代・男)、 Mさん(40代・男)
調査者	伊藤瑞希、岡野由佳、河村優李奈、菅原瑞希、関口美香

2. インタビューの結果

①相談

利用者の属性と相談相手は家族や身近な人物等、関係性が深いように思える。

利用者の主となる時間を過ごす場所は家庭と作業所であるため、その中で関係がつくられ、様々なところに影響してくると思った。

仮にどのような相手に相談をするのかを考えた。関わる機会が多く、自分が心を許せる人、信頼の持てる相手、相談内容によっては人を変えているだろう。知的障がい者は社会参加をする場面が少なく、家庭か作業所が居場所と考えると親密な関係を築くことができるのは親族か施設職員となるのは必然的である。また、知的障がい者同士で親密な関係を築いていくことが苦手と思えるため、相談相手は限定的になっていると思う。

また、知的障がいは自分で物事を判断することに困難が生じ、周りの人の意見に賛同しやすく、言いなりになりやすい傾向がある。そのため、同居しており、多くの時間を一緒に過ごす人々の考えが反映されやすいのだと思う。利用者の中には話をすることが好きで、「聞いてもらいたい」というニーズを抱えている人もいた。

②趣味・将来

趣味に関しては様々な回答が挙がり、このことから対象者一人ひとりが自分たちの好きなことができていると感じる。趣味に関して①「単独でするもの」、②「他者とするもの」に分類をした。①の単独でする趣味には音楽鑑賞、ゲーム、お絵かき、テレビをみること、プラモデル等が挙がる。長年続けている趣味を持った対象者がいる一方、一人で行える趣味が多いことから友人等の関係作りが苦手だと感じた。また音楽鑑賞でどんな音楽を聴くか訪ねたところ「演歌」をよく聴いたり歌ったりしている回答がいくつか出た。対象者の親が聴く音楽に影響をうけていることを感じた。このこ

とから趣味に対しても親の影響が強いことを感じる。

②の他者とする趣味では施設のクラブ活動で行われるカラオケ、ダンス、家族と一緒に買い物や旅行に行く等が挙げられた。他者とするものに関しては施設内の同じ利用者、家族と一緒にやる趣味が大半を占めていた。人と関わるのが「楽しい」と感じている一方、外部との交流が少ない、親密な人としか関わらない傾向があると感じた。地域、社会との交流を深めていく必要性を感じた。

また趣味は将来のやりたい仕事、やりたいことに関連している。「画家になりたい」「韓国へ行きたい」「旅行へいきたい」等が挙げられ趣味、好きなことが将来やりたいことや夢に繋がっていることが多いことが分かった。よって、利用者にとって趣味は生活において大切な役割があると感じた。

将来のやりたい仕事、やりたいことに関しては今の施設で働いていたい。など現状に満足している回答も多く挙げられた。仕事以外のクラブ活動、行事等の楽しみもあることから現状に不満があるような回答はあまり述べられなかった。

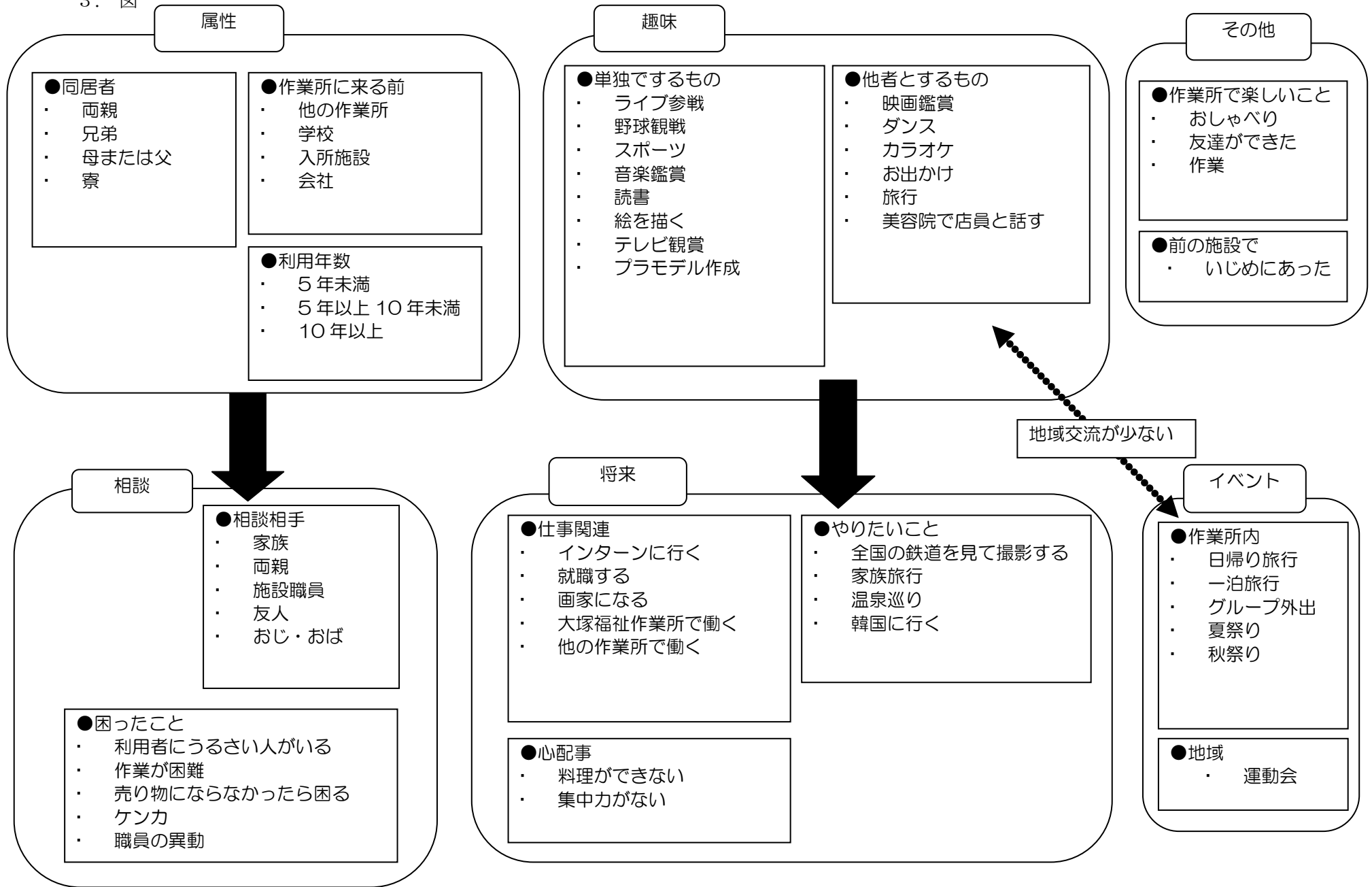
③イベント

作業所でのイベントに参加した人に、楽しかったものは何かと尋ねたところ、楽しかったものは、作業所内のイベントが多く、その他で楽しいと感じたイベントは運動会しかなかった。この事から作業所として地域交流、社会参加の機会が少ないという可能性が推論できる。趣味からもわかるように普段の生活の中で家族以外の他人との関わりが作業所以外、極端に少ない。

④その他

作業所所内でイベント以外に楽しい事はあるかと聞いたところ、おしゃべりや友達ができたという回答から、障がい者同士のコミュニケーションを育む場にもなっているという事がわかる。

3. 図



グループ2. 小石川福祉作業所

1. インタビューの紹介

施設名／種別	小石川福祉作業所／就労移行支援・就労継続支援B型
日時	2013年8月21日13:00～14:00
対象者	Aさん(40代・男性)、Bさん、Cさん、Dさん(40代・女性)、Eさん(30代・男性)
調査者	池田昇太・音道篤・玉川侑資・中村有花

2. インタビューの結果

インタビューで行った質問に対する利用者の回答を、次の六つに分類した。

①個人属性

「利用者自身の属性」と「本人を取り巻く人間関係」についてまとめた。属性のところで分かったことは、利用者の中には一人暮らしをしていることや、普段は家業の手伝いをしている方がいることである。また、本人を取り巻く人間関係のところで分かったことは、休日はヘルパーと共に買い物に行ったり、家族を亡くしている方がいることなどであった。

②趣味

利用者の趣味と休日の過ごし方についてまとめた。音楽や読書、野球鑑賞など1人で趣味を楽しんでいる方もいれば、家族と共に買い物やドライブに行き過ぎて過ごす方もいることが分かった。

③地域

利用者が地域のイベントに参加しているかどうかを尋ねた結果、以下のようなことが分かった。

- ・他の福祉施設で行われるボランティア祭りの手伝いに行っている方がいた。
- ・小石川作業所の利用者全員で白山神社で毎年行われるあじさい祭りにいった。
- ・四月には、施設の近くでお花見をした。

また、インタビュー中では全員イベントに参加して「楽しかった」といっていたが、本当に全員がそのように感じたのは疑問であった。なぜなら、インタビューでそのように元気よく「楽しかった」と答えていたのは5人中2人だけだった。あとの3人は回りに流されて返答したとも考えられるためである。

④施設

作業所の利用実態と利用するに至った経緯についてまとめた。作業所での仕事に関して、「仕事内容が楽しい」「施設行事が楽しい」などと答える方が多かった。利用する経緯に関しては、「先生に紹介された」、「区役所の紹介」の2つだけであった。インタビュー中には確認できなかったが、中には家族に紹介された方もいたのではないだろうか。

⑤相談

相談の相手とその内容についてまとめた。相談相手は、施設の職員や家族が多かった。区役所へ相談している方は少数である。その理由は、以下のどちらかではないだろうか。

- ・役所のどこに相談すればよいのかわからなかったり、「こういうこと相談して良いのか」という不安等があり、相談したくても出来ない。
- ・周りに相談できる相手がいるため、わざわざ役所に行く必要がない。

また、相談内容に関しては、「金銭の相談」というのがあがったが、「悩みや不安が特にない」という答えが多かった。インタビュー中では聞けなかったが、人間関係の悩みや、自分の将来についての悩みなどもあるのではないだろうか。

⑥将来

質問の回答は、将来に対する希望と不安の2つに分けることができる。希望のところでは、一般企業での就労を望む方がいないことが分かった。このまま「施設に居続けたい」「施設での仕事を続けたい」という答えが多い。利用者は今の状況に満足しており、「環境を変えたくない」と希望しているのかもしれない。利用者が施設を利用している一番の目的は、居場所を確保することではないだろうか。

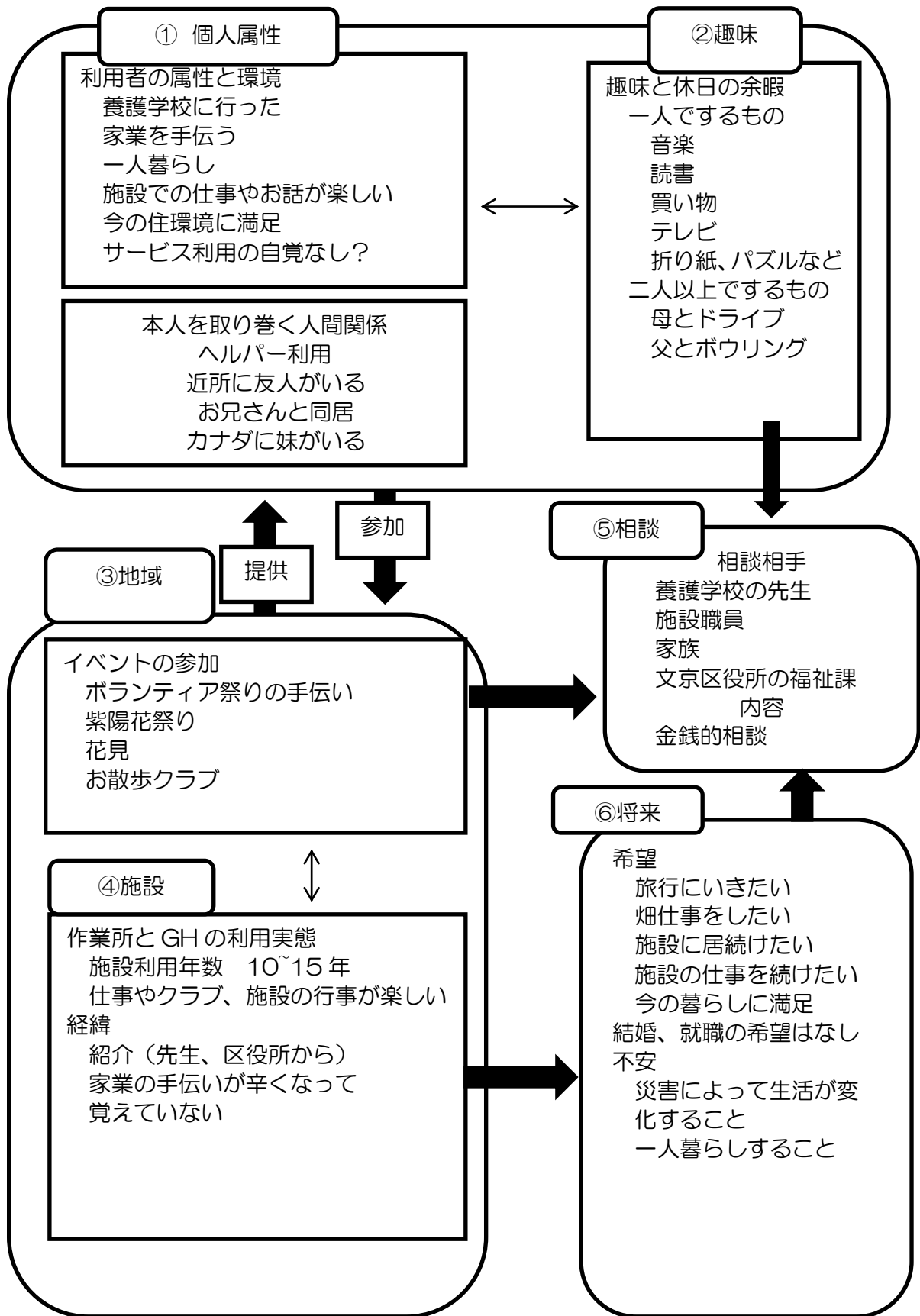
また、将来への不安のところでは、「災害によって生活が変化することへの不安」や「一人暮らしすることへの不安」などがあがった。

⑦まとめ

今回のインタビュー対象者5名は、全員が就労継続支援 B 型のサービスを受けていた。このサービスを通じて生産活動や就労に必要な知識や能力が高まった方は、就労継続支援 A 型や一般就労へ移行することが望ましいと思われるが、上述したように、それを望む方はインタビューでは見受けられなかった。

また、インタビュー結果から、利用者の交流関係が狭く、それが自立のための阻害要因となっているのではないかと考えた。外部との接触する機会が増えれば、趣味や関心ごとが増えるため、就労に対する意識も変わるのではないだろうか。

3. 図



グループ3. 動坂福祉会館

1. インタビューの紹介

施設名／種別	動坂福祉会館／地域活動支援センター
日時	2013年8月15日13:30~15:00
対象者	Aさん(40代・男性)、Bさん(50代・男性)、Cさん(40代・男性) Dさん(40代・男性)、Eさん(40代・女性)
調査者	中村有花、水野美幸、荻野亜弓、大澤良介

2. インタビューの結果

①希望

- ・仕事に関して「働きたい」「働きたくない」の回答があった。
- ・「働きたい」の回答
→働いてみたい仕事の内容は、趣味と両親の仕事内容が関係していた。
- ・「働きたくない」の回答
→「②仕事経験」を参照
 - ・「働きたい」と回答するものの、就労への壁がある。
→「腰痛」や「今後の親の介護」の問題がある。
- ・「今の生活を続けたい」という回答

具体的な回答が得られなかったため、推論になるが、以下の考察をした。

- 新しい仕事や結婚のイメージがつかないのではないか。
- 親の決めたことに従ってきたため自分で決められないのではないか。

②仕事経験

- ・作業所や企業、自営業などさまざまな仕事経験があった。
→作業能力は高いが、それぞれの理由により仕事を辞めている。
- ・過去の経験が今後の就職希望に強く影響している。
→「いじめ」で辞めた人は「働きたくない」と回答した。
→企業の体制が整っていなかったのではないか。

③楽しいこと

- ・施設で楽しいこと、趣味、休日の過ごし方が共通するものが多かった。
→施設が作業する場や機能訓練の場ではなく、生活の場という意味合いが大きいため。
→利用者が日中過ごす居場所として、施設が機能している。
→楽しみや目的意識を持って利用者が施設に通っている。
- ・趣味と休日の過ごし方が特に重なっていることから、好きなことをできる環境が整っている。
→文京区には暮らしに余裕がある家庭が多いということから、作業所等で毎日仕事をさせるよりも、好きなことをさせてあげたいと保護者は考えるのではないか。

④不安

- ・「不安はありますか？」と尋ねたところ、「特にない」「わからない」の回答が多い。
- ・不安は漠然としていて、相談するほど具体化されていない。
→具体的でないために、相談・サービスに繋がっていない。

⑤相談

- ・相談相手を探したところ、親・施設職員など、悩みを話せるような信頼できる人がい

ることがわかった。

→信頼できる人はいるが、その他の交友関係は希薄なのではないかと思われた。

⑥サービス

・サービスに関する質問では「わからない」という回答が多かった。

→このことに関して、施設職員から「サービスは親が全て行っているため、本人は把握していない」ためであろうというコメントがあった。

⑦地域交流

・「参加したことがない」という回答があった。

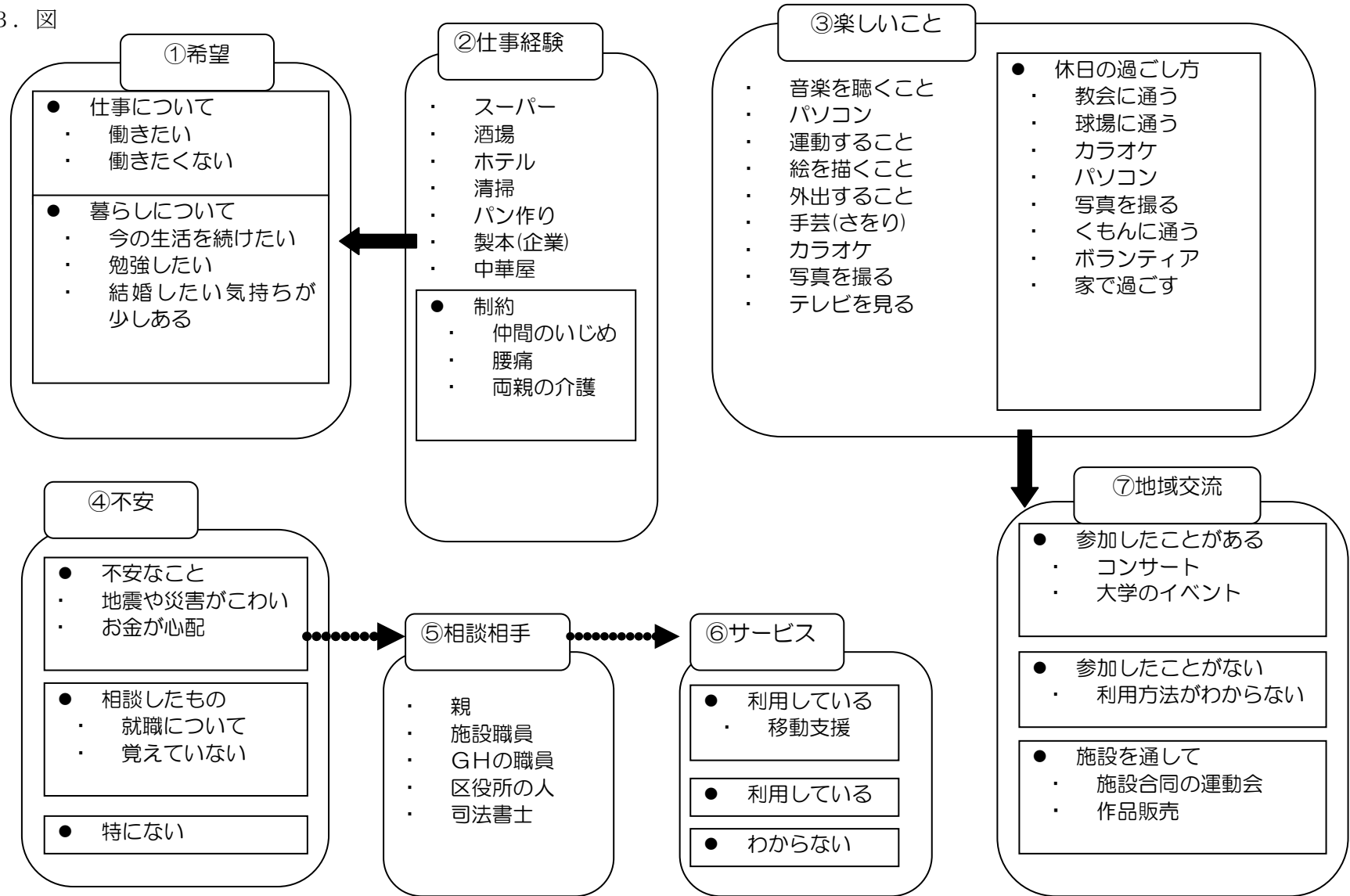
→本人は“地域交流”として意識していないが、施設を通して地域活動に参加しているものもあった。

→施設が“地域参加”としての役割を果たしている。

・「参加したことがある」という回答があった。

→自分の趣味や興味関心があるものに参加していた。

3. 図



グループ4. 本郷福祉センター（若駒の里）、だんござかハウス

1. インタビューの紹介

施設名／種別	若駒の里、生活介護
日時	2013年8月22日(2時間)8月29日(1時間半)
対象者	Aさん(20代・男性)、Bさん(30代・男性)、Cさん(40代・女性) Dさん(20代・男性)、Eさん(40代・女性)、Fさん(20代・女性) Gさん(30代・男性)、Hさん(20代・男性)、Iさん(20代・女性) Jさん(20代・男性)
調査者	石田理恵子、松井泰葉、吉野皓二、野中陽平

施設名／種別	だんござかハウス、生活介護
日時	2013年8月12日(1時間)
対象者	Kさん(10代・女性)
調査者	玉川侑資、館友佳子

2. インタビューの結果

① 各セクションについて(※3.図参照)

インタビューから得られた回答をまとめ、KJ法を用いて各回答を系統別に分類した。その結果まとめられたセクションは以下の通りである。

・個人属性

施設利用以前にいたところ「特別支援学校等」、施設の利用開始時期、住居形態、一緒に住んでいる人「家族、ケアホーム住人等」。

・施設での過ごし方

施設の仲間と過ごす、利用者とは出かける、ピアノを弾くこと等。

・休日の過ごし方

半数以上の利用者は家族と共に過ごすとは回答「母と外出、家で読書、母と母の友人と外出」。その他の回答としてケアホームの仲間と過ごす、家にて一人で過ごす等。

・困っていること

施設での困りごと「施設内の階段が長い、施設まで遠い、家から歩いて通所することが大変、施設では好きなことができていない」に関する回答とお金に関する困りごと「金銭管理」等の回答が得られた。

・相談相手

家族、施設職員。

・趣味

読書、フィギュア収集、お絵かき、お化け屋敷に行くこと、嵐「ジャニーズ」が好き。

・将来

施設内活動「お菓子作り、作業内容の向上」

仕事「お菓子や料理を作る仕事、パソコンを使う仕事、レストランでの仕事」

生活「ずっと家族と過ごしたい、結婚、一人暮らし、文京区での暮らし」

健康「これからも元気に過ごしていきたい」

やりたいこと「プラモデルやパズルを作りたい、掃除や買い物を一人でしたい」

・地域交流

夏祭りに参加している・参加していない。ケアホームの近隣住人と話す。

② 各セクション間の関係について(※3.図参照)

・一緒に住んでいる人と休日の過ごし方の関係

多くの利用者が自分と暮らしている両親や兄弟と休日を過ごしており、家で過ごす場

合もあれば、家族と外出する場合もあるとの回答が得られた。家族以外の人との接点の少なさがここから伺える。

- ・相談相手と一緒に住んでいる人、施設での過ごし方及び困っていることの関係

利用者の相談相手は家族と施設職員のみ。一緒に住んでいる家族と施設にて関わりを持つ職員とは悩みを打ち明ける良好な関係性であることが伺えると同時に、この二つの人以外との接点は持っていないということが想像される。

- ・将来と施設の過ごし方の関係

利用者が希望している将来の中にはおかし作りや作業内容の向上など、これからも施設での活動を希望しているとの回答も上がった。利用者にとって施設での日々の活動が本人の将来設計にも影響しているものと考えられる。

- ・将来と趣味の関係

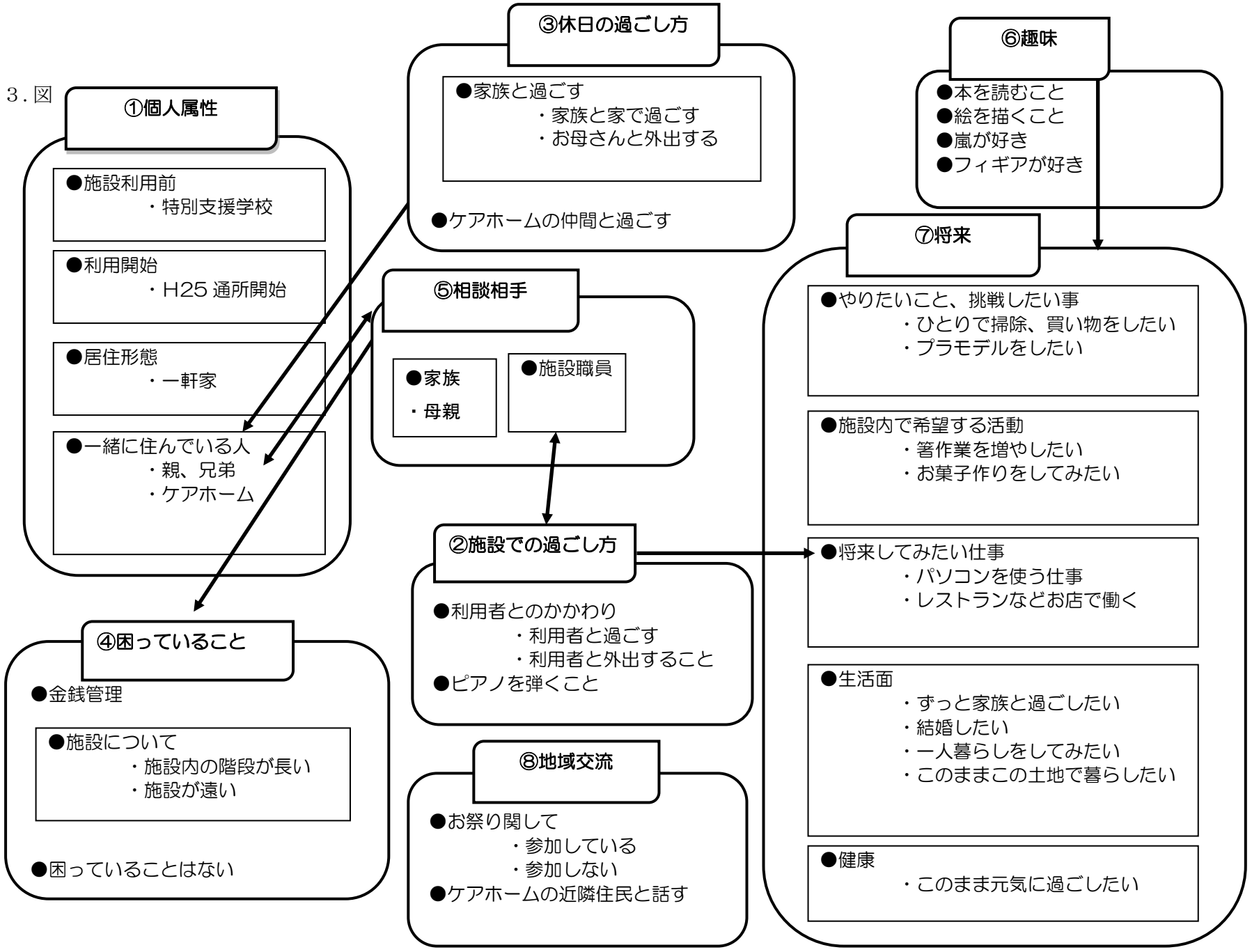
利用者が希望している将来の中にはパズルやプラモデル、ショッピングなど自身の趣味的活動に触れている回答も上がった。趣味という目標を持つことで自身の生活をより良いものにしていきたいという思いがあるのではないだろうか。

③ 見えてきた問題点

今回、我々のグループが調査を通して発見した問題点は、図を見ても分かる通り各セクションの中で地域交流のみ他のセクションと関連性が見出せず独立してしまったという点である。夏祭りには参加しているとの回答は少数の利用者から得られたのみであり、その他のイベント等に関しても参加しているとの回答は得られなかった。前述した一緒に住んでいる人と休日の過ごし方の関係からも分かることだが、利用者の社会的関係性は家族のみに限定されてしまっている。この社会的関係の希薄さが地域との交流にも影響を及ぼしているのではないだろうか。

このような社会的関係の希薄化の原因として、ICFに基づき、2つの理由が考えられる。1つ目は利用者と家族を取り巻く社会的環境(近隣住人、近隣店舗、その他文京区社会資源及び文京区の成員)そのものに何らかの問題があるのではということ。2つ目は利用者と家族及び親族、友人の関係性が本人たちも自覚できていないまま、その関係内で完結してしまう極めて閉鎖的なものになっているのではということ。実際に利用者からインタビューといった形で話を聞き、その結果をまとめたことで分かった利用者と家族の関係性から鑑みるに、2つ目の理由が利用者の社会的関係の希薄化に拍車をかけているのではないだろうか。

3. 図



グループ5. は~と・ピア

1. インタビューの紹介

施設名／種別	は~と・ピア、生活介護事業(通所)
日時	2013年8月21日10:00~12:30
対象者	Aさん(50代・男性)、Bさん(30代・男性)、Cさん(40代・女性) Dさん(40代・女性)、Eさん(40代・女性)、Fさん(20代・男性)
調査者	勝井葉月、工藤佳子、斎藤啓介、中原早貴

2. インタビューの結果

①家族

インタビュー結果から利用者の生活には①家族が深く関わっていることが分かった。そこで図では家族を中心に置き、家族が利用者に与える影響を矢印で表した。

②お金

この項目から、お金は『自分以外が管理』という回答と、『おこづかい制』という回答を得た。また、『自分以外が管理』という結果から、お金を自分で管理する環境になり、一人で管理することができなかった、家と施設を往復するだけの生活で使う場面があまりないという背景を考察した。

③趣味

この項目から、利用者は室内で行う趣味が多い、外に出なくても過ごせているという考察をした。また、お金を使う趣味もあるが、②《お金》の項目で『自分以外が管理』という回答が多いことから親が趣味を決め、お金を出しているのではないかという考察もできた。しかし、概ね趣味には満足しているという結果を得た。

④休日の過ごし方

この項目から、結果は「テレビを見て過ごす」、「洗濯物を取り込む」といった『家』、「家族と買い物に行く」、「美術館に行く」といった『外出』、「露店で売り手をやった」、「祭りに参加した」といった『地域行事』という3つに大別できた。このうち、『外出』については、家族との外出が多かったため、家族が行く場所へ本人がついて行っているといったように、本人の意思ではなく家族の意思で外出先が決められているのではないかという考察をした。しかし、概ね休日の過ごし方には満足しているという結果を得た。

⑤施設活動

この項目から、結果は「箸の袋詰め作業が楽しい」、「郊外宿泊が楽しい」といった『施設内活動』に対する感想、「(施設が主催する)えんじゅ祭りの売り手をしたい」、「近くの公園清掃が楽しい」という『地域交流』に対する感想の2つに大別することができた。またいずれの結果からも施設活動は満足しているという結果を得た。『施設内活動』のうち、「郊外宿泊が楽しい」という結果が多かったことから、普段の生活と異なることが良い刺激になっているという考察をした。

⑥入所のきっかけ

この項目から、「人にすすめられたから」、「母にすすめられたから」という回答を得た。これらの結果から、施設入所のきっかけは本人の意思がほとんど反映されていないという考察をした。

⑦以前は何をしていたか

この項目から、「フレンドルームを利用していた」、「作業所にいた」、「学校に通っていた」、「別の通所介護施設を利用していた」、「仕事をしていた」という回答を得た。今回の調査対象者は年齢も幅広かったため回答に一貫性は得られなかった。しかし、⑤《施設活動》に満足しているという結果や「以前の施設は息苦しかった」といった回答から、施設を移ったことにより目的や環境が変わり、利用者の能力に合った支援が行えているのではないかと考察した。

⑧相談

この項目のなかの、「職員にあまり相談しない」という回答から、

I	職員とは相談する関係性ではない
II	職員が忙しそうで相談しにくい
III	家族から、職員に迷惑をかけるなど言われている

という三点の可能性があると考察した。

また「父母とよく話をする」という回答から、本人は相談しているという自覚はなくとも、困っていることは家族に話している可能性があると考察した。

⑨困っていること

この項目のなかの、「生活で困っていることは特にない」という回答から、

I	困っていることが本当にない
II	困っているという認識がない
III	困っていることが言い出せない

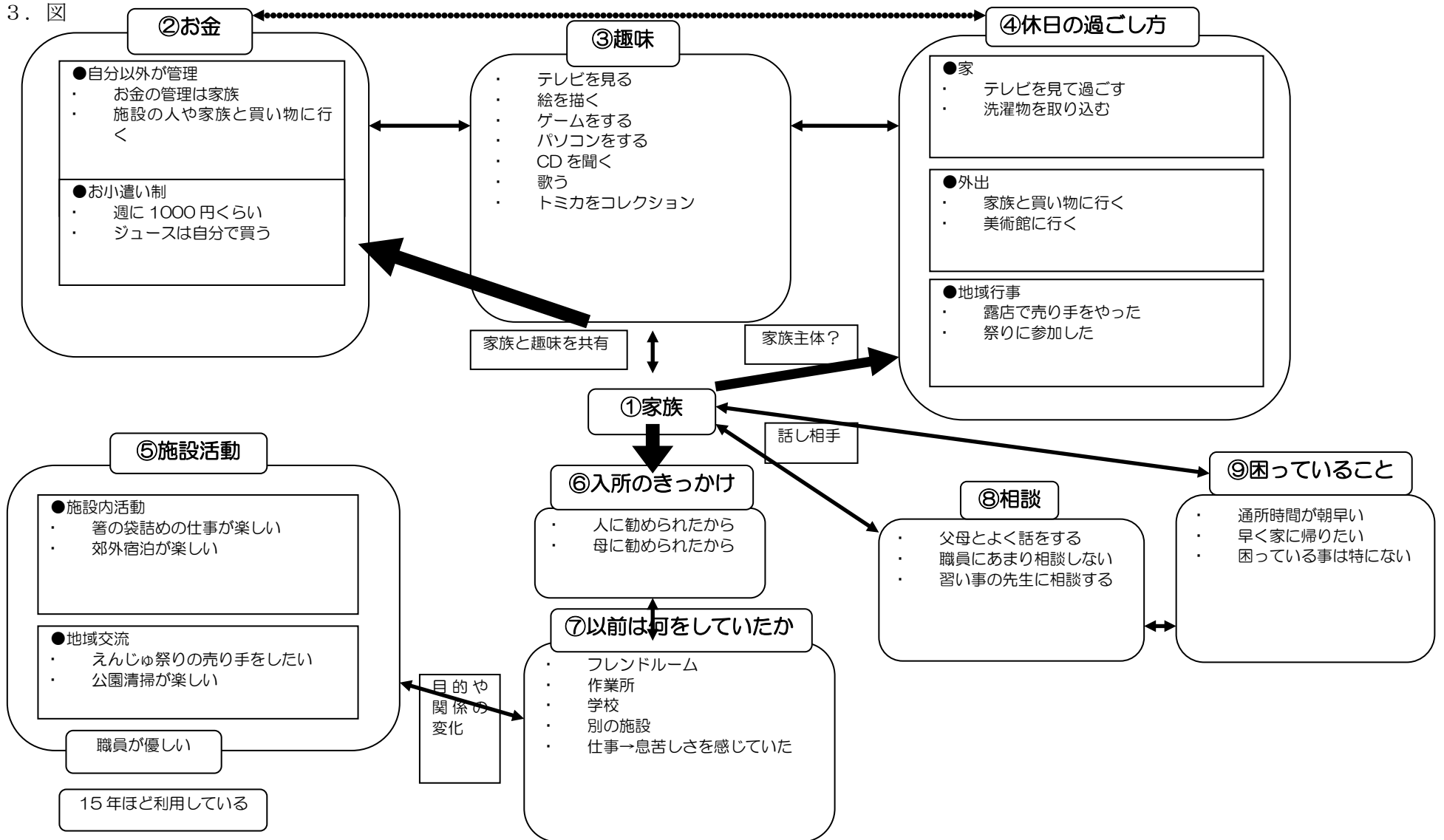
という三点の可能性があると考察した。

なかでも、「III. 困っていることが言い出せない」という回答の理由は、

i	職員が普段忙しそうのため
ii	自分の意思表示が苦手なため
iii	困っていることを言う 相手や機関が分からないため

という三点の可能性があると考察した。

3. 図



グループ6. ワークショップやまどり

1. インタビューの紹介

施設名／種別	ワークショップやまどり、障害者福祉サービス事業所
日時	2013年8月5日14:00~15:00
対象者	Aさん(10代・男性)、Bさん(10代・男性)、Cさん(20代・男性)、 Dさん(20代・女性)、Eさん(40代・女性)、Fさん(20代・男性)、 Gさん(20代・男性)、Hさん(50代・女性)、Iさん(50代・男性)
調査者	井田汐厘、小島美由貴、舘友佳子、水野美幸、三好沙知、元木太幹

2. インタビューの結果

①施設での生活

施設での生活については主に『仕事を楽しんでいる人』、『友人関係や施設内での活動が楽しい人』、『楽しいことは特にないと答えた人』の3タイプに分かれていることが明らかになった。また、施設で楽しいことと趣味が重なる人がいることから、施設が友人とのコミュニケーションの場になっており、生活の中心としての施設の役割が大きいことがわかる。

楽しいことは特にないと答えた人については、以下の理由が考えられる。

- 施設を利用しはじめてから日が浅いから
- 施設に通うことが困難であるから
- 嫌々通っているから

しかし、聞き取りの中からそれを判断することは出来なかった。

②趣味

趣味を通じてスポーツに関連した地域交流をしている人がいることが明らかになった。趣味の幅を広げるという意味で、趣味が希望につながる人が多い傾向が見られた。室外で活動する際は区内が多い印象で行動範囲は広範囲に及ばないようであり、あるいは外出の際は家族と行動している様子であった。

③地域交流

趣味のスポーツや近くの「大学祭へ遊びに行く」等が主で、区で行われているもの(ふれあいの集い等)に参加していると答えた人はいなかった。趣味のスポーツを通して大会に参加することによって、地域との交流がある人もいた。

地域との交流がないと答えた人については、以下の理由が考えられる。

- 地域でのイベントに参加しづらいと感じている
- 家族が外出を制限しているのか

しかし、聞き取りの中からそれを判断することは出来なかった。

④希望

生活面での希望の中心は趣味に関連したものが多く、興味が本人や家族にのみ向いている印象であった。仕事面では、現状維持を望んでいる人もいる一方、違う仕事をしてみたいという人もいた。

全体として、身近な希望が挙げられており、区のサービスを利用したい、あるいはどのようなサービスが必要か、ということまでは想像していない(できていない)ということが明らかになった。また、生活面、仕事面共にほぼ現状維持を望んでいる回答や内容が曖昧な回答が多く、現時点では未来のことを想像するための経験が少ないのではいかと予想することができる。

⑤恋愛

消極的な人が多くみられた。積極的な回答もあるが、「結婚」「デート」等のイメージが漠然としていた印象を受け、具体的なものとしては考えられていないのではないかと思われる。

⑥不安

『不安がある』人と『不安がない』人に分けられる。前者は仕事面、生活面、施設までの移動のこと、災害といったカテゴリーに分けられる。将来についての漠然とした不安を感じている人もいるようである。災害については東日本大震災発生時のことから、不安を感じている様子。また、避難方法や避難場所を知っていると回答した人はわずかであった。

『不安がない』と答えた人の中には、不安はあるが相談できない環境にある、相談相手がいなかったため不安を表出できなくなっている可能性が考えられる。

⑦相談

不安や困っていることは主な相談相手である家族では解決できないことであるため、利用者のニーズは本人または家族でとどまってしまう。あるいはニーズを解決できるサービスについて利用者だけでなく家族も知らないことが挙げられる。

また、施設の職員とうまくコミュニケーションがとれていないため解決につながらないこともある様子。

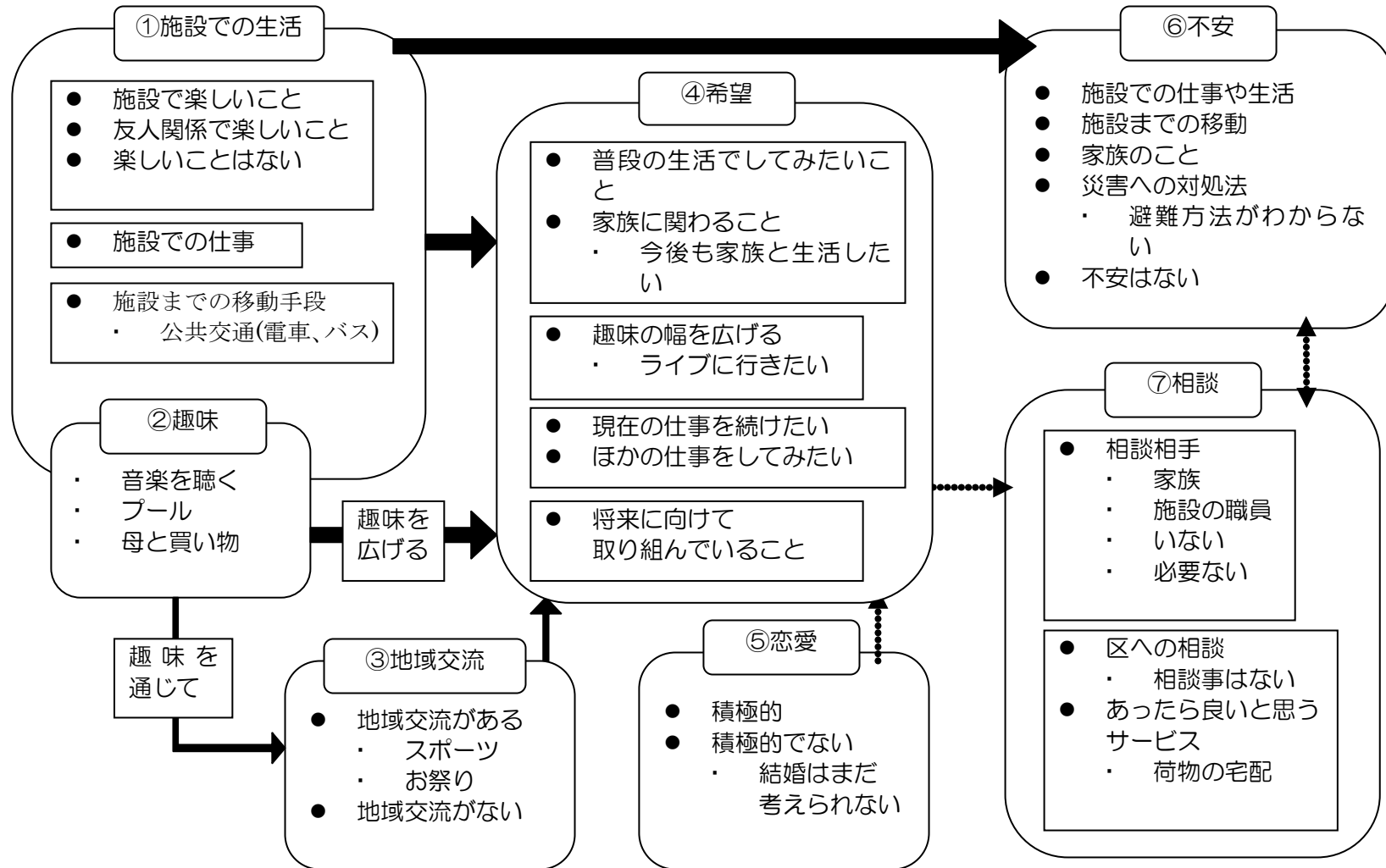
⑧まとめ

家族とのつながりが強く、それにより外部との交流が少なくなっている面もある。家-施設間が主な活動範囲であると考えられ、地域交流が障害者にとって参加しにくいものになっている可能性がある。

また、施設が就労継続や就労移行のためだけでなく、友人をつくる等コミュニティ形成の場になっている。

全体を通して将来の展望が漠然としていた。現在の生活や環境では、未来のことを想像するための経験が少ないのではないだろうか。

3. 図



グループ7. 工房わかぎり

1. インタビューの紹介

施設名／種別	工房わかぎり／就労継続支援B型
日時	2013年8月9日9:30～14:00
対象者	Aさん(10代・女性)、Bさん(20代・女性)、Cさん(10代・女性)、Dさん(30代・女性)、Eさん(30代・女性)、Fさん(50代・女性)
調査者	阿部円日、高橋理美、生稲夏未

2. インタビューの結果

① 家族構成

一緒に暮らしている人は、親や兄弟が多く、年齢に関係なく家族で暮らしている人が多い。グループホームへの入所を希望している方が一人いたが、今後も家族とこのまま暮らしていきたいと考えている人が多いようだった。

② 施設利用の現状

工房わかぎりは、筑波大附属大塚特別支援学校の親の会である桐親会を母体とした作業所であるため、卒業生が実習をきっかけに卒業後入所することがある。在学時に関係のあった先生などが来所することもあり、卒業後に施設を利用し始めたばかりの方も安心して働ける環境であると考えられる。以前違う場所で働いていた方もいて、1名は就労支援サービスを利用して紹介してもらい、実際に見学して決めたそうだ。前の施設長からの紹介の方もいて、区内の施設間の連携もあることがわかった。

『施設を利用して楽しいこと』の中で、「レザークラフトや刺繍の作業をしているのが楽しい」という意見が多かった。これは、受注作業中心ではなく自主製品を生産しているこの施設ならではの特徴であると考えられる。休み時間には、利用者同士でトランプをしたり、卓球をしたりしていることから、利用者同士の関係性が良好であると考えられる。作業の充実や利用者同士の関係性が良好であるため、利用年数が長いと考えられ、今年から働いている利用者も長く続けていけると思う。『施設を利用して困っていること』には、「全くない」と答えた人が大半を占めている。「以前友人関係に悩んでいた」方もいたが、施設長や職員の助言もあり、今は問題なく過ごしている。

③ 相談相手

《相談相手》として、「両親や兄弟などの家族」や、「施設の職員など」が挙げられた。このことから、家族との関係、施設との関係が共に良好であると分かる。矢印で示した通り、身近な存在である家族や職員には積極的に相談をするが、区への相談には繋がっていないことが分かった。理由としては、相談の仕方が分からない、難しいと感じている、という答えであった。もし区への相談をする必要があっても、今現在、親と暮らしている人が多いことから、相談は本人ではなく、親がしていると考えられる。

④ 余暇活動

『趣味』を持っている方が多かった。「日記をつける」、「音楽を聴く」、「パソコンゲームをする」、「料理をする」、「ダンスをする」、「DVD鑑賞」など、自宅でも楽しみを持っている。『休日の過ごし方』は、「休日は家族と一緒に旅行に出かける」、「職員の方と外出する」、「プールに行く」、「スポーツセンターのバラエティストレッチに参加する」、「ショートステイを利用する」など、積極的に外出し、休日を満喫している方が多かった。文京区の施設や事業を利用している方がいるということがわかった。

⑤ 地域交流

施設全体で、「合同運動会」や「ふれあいの集い」、「夏祭り」に参加している。個人で参加したイベントは回答が得られなかったことから、施設を利用していない人よりも施設を利用している人の方が、地域との繋がりが強く出来ているのではないかと考えた。現在、施設でたくさんのイベントに参加しているため、「今後も継続してイベントに参加したい」、「充実しているので新たなイベントへの希望は特にない」という意見があった。『参加してみたいイベント』は利用者本人の将来の希望にも含まれると考えたので、地域交流と将来の希望の両方に含めた。

⑥ 将来の希望

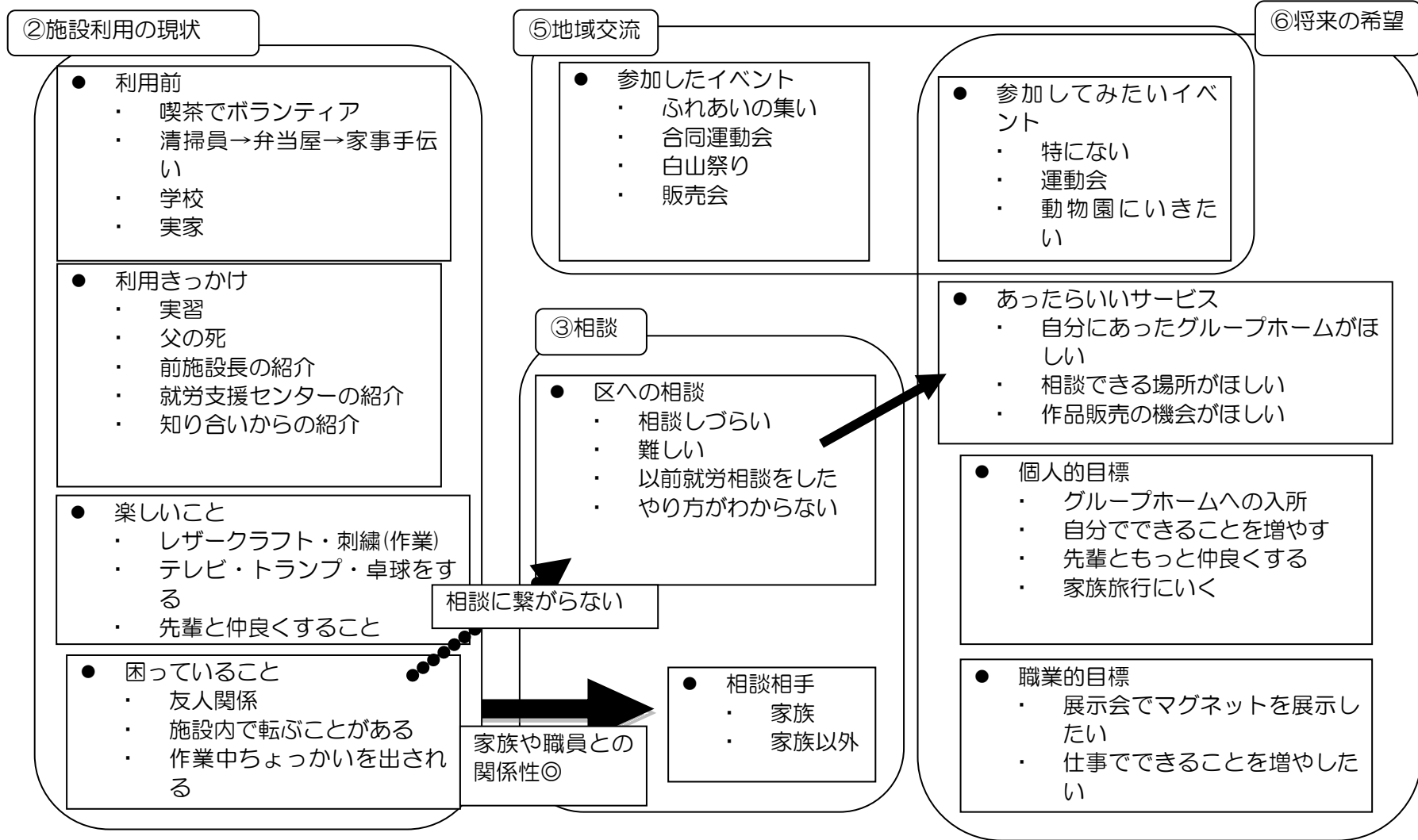
展示会への出品を目標に良いものを作ろうという意識が利用者にあるようで、「自分の作品を展示したり販売するところをもっと増やしてほしい」という希望があった。「展示会でマグネットを展示したい」という『職業的目標』から、「作品販売の機会を増やしてほしい」というサービスの希望に繋がっている。また、「グループホームに入所したい」という『個人的目標』から、「自分に合うグループホームがほしい」という希望に繋がっている。しかし、調査を通して、この希望は両親が考えていることであり、本当に本人がグループホームへの入所を希望しているかどうかはわからないと感じた（この部分は施設長の支援によるヒントを得た）。

利用者の方はそれぞれ目標をもって、「家族と旅行にいきたい」、「先輩ともっと仲良くしたい」などもあったが、大半は仕事に関するものであった。「現在の作業所で今後も働いていきたい」、「仕事でもっと出来る事を増やしたい」などの目標が挙げられた。利用者がやりがいを感じられているのは、作業の中心が自主製品の生産であり、自分の努力の結果が目に見えて分かりやすいからではないかと考える。

⑦ まとめ

今回の調査全体を通して、利用者はみんな家族との関係が良好であるが、その反面、家族に頼りすぎてしまっている面があると感じた。親も今後高齢化し、ずっと子どものそばにいて面倒を見てくれるわけではないのが現実である。（相談相手の所でも触れたが）家族や職員などの身近な人には気軽に相談できるが、区への相談は親が行っているのではないかと考える。

3. 図



グループ8. ドリームハウスⅢ、Ⅳ、エルムンド小石川、わかぎりの家

1. インタビューの紹介

施設名／種別	ドリームハウスⅢ、Ⅳ／知的障害者グループホーム・ケアホーム
日時	2013年8月22日17:00~18:00
対象者	Aさん(60代・女性)、Bさん(40代・女性)、Cさん(40代・男性)、 Cさん(40代・男性)、Eさん(30代・男性)、Fさん(40代・男性)
調査者	大澤良介、元木太幹

施設名／種別	エルムンド小石川／知的障害者グループホーム・ケアホーム
日時	2013年8月8日18:30~19:40
対象者	Gさん(40代・女性)、Hさん(30代・男性)、
調査者	岡野有紗、根岸千春

施設名／種別	わかぎりの家／知的障害者グループホーム・ケアホーム
日時	2013年8月7日18:00~18:20
対象者	Iさん(20代・男性)
調査者	阿部円日、生稲夏未、高橋理美

2. インタビューの結果

①人間関係

対象者と周囲の人間は良好な関係が築けていることがわかった。相談相手として、「施設職員」、「両親」、「以前通っていた学校の先生」、「友人」等、人により様々であったが、信頼できる人間が身近にいることが分かった。

②グループホームでの生活

利用のきっかけは親や職場の所長等の身近な人からの紹介によるものと、文京区からの紹介によるものという2つに分けた。しかし将来どこで暮らしたいかという問いに対し、「実家で暮らし続けたい」という思いがあるながらも、グループホームで生活していることがわかった。そのため入居が本人の意思によるものなのかどうか疑問に思った。

③仕事

仕事を始めたきっかけが、「先生からの紹介」であったことから、利用者本人の仕事がしたいという意思によるものなのかどうかは疑問である。

仕事内容は、箸入れ、配達の手伝い、織物等の軽作業が多いが、得意なことや楽しみをそれぞれが持っている。

④地域

地域交流については、地域のイベントに参加したことがある人がほとんどであったが、一方で参加したことがない人もいた。インタビューでの回答からは、イベントを楽しみにしている印象を持った。

地域交流については、地域生活する障害者本人や家族の地域交流の促すことよりも、地域住民と気軽に交流できる機会を設けることが求められているのではと考えた。

他にもサービスについての質問をしたが、対象者本人にサービスを利用している意識があまりないようで、具体的な回答は得られなかった。またサービスに対して「必要なものはない」との回答がほとんどであった。そのためサービスが現状は行き届いていると考えることができる一方、対象者本人がサービスを理解していないのではないかと、またこれが不足している場合は、区へ相談できる体制があるのか、相談できる場が認知されているのか疑問に思った。

⑤趣味

趣味について、施設内で楽しめるものと施設外で楽しめるものの二つに分けられた。たとえば施設内の趣味は、②の『グループホームで楽しいこと』に共通しているものもあった。また施設外では行動範囲は限られているものの、「野球観戦」、「外食」、「買い物」、「カラオケ」などが挙げられた。

習い事や休日の過ごし方は趣味と重複していることが多かった。知的障害者本人の希望を達成するために、趣味を見つけられる機会が必要とされているのではないかと感じた。

⑥夢

希望と将来に対する不安の2つに分けてインタビューを行った。

《希望》

全体的に生活面に対する希望が多く挙げられ、特に「自力でできることを増やしたい」、「以前のように動けるようになりたい」という意見が印象的であった。仕事面では、「今の仕事をそのまま続けたい」という回答が多く出た。

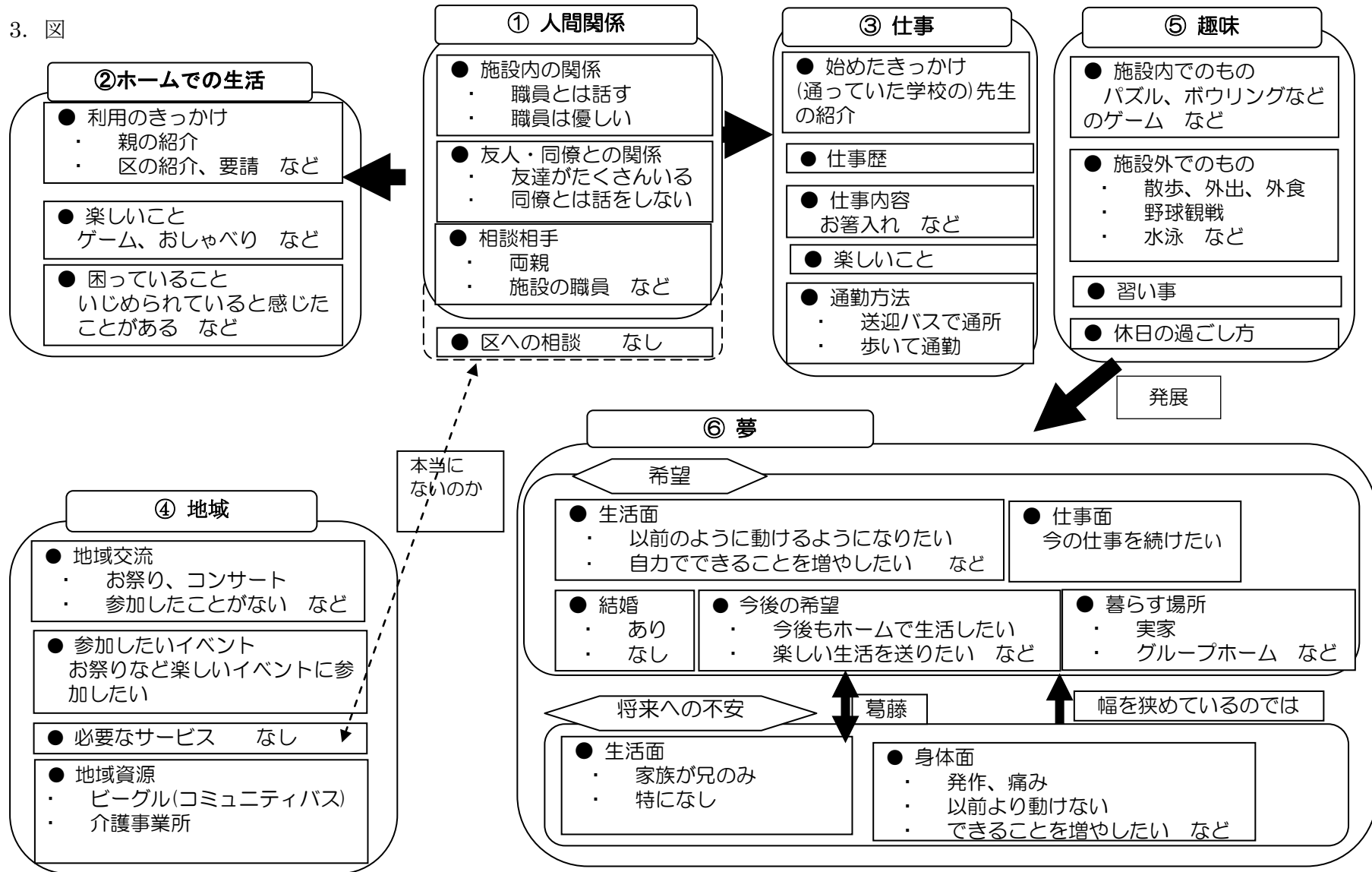
将来どこで暮らしたいのかという問いには、一人暮らしをしたいという意見が挙げられなかった。このことから、一人で生活を行うことを具体的に想像がつかないのではないかと印象を受けた。

《将来に対する不安》

不安については、身体面のことが多く挙げられた。主に「発作」、「外反母趾の痛み」、「以前より動けない」といった自身の病気や障害に対するものであった。

また「家族が兄のみしかいない」という現状に対する不安も挙げられた。今後は身体面だけでなく、本人の心に寄り添った支援が必要にとされるのではないかと感じた。

3. 図



2. 調査者所感

- グループ1. 大塚福祉作業所
 - 施設見学に行かせてもらった時、閉鎖的な空間で作業が行われているように感じた。また、箱折りや封筒入れ等の工程の分かりやすい作業を能力に合わせて行っているのだと感じた。
 - 調査を通じて思っていた以上に家族との関係性が強いことがわかった。そのため活動範囲が限定されてしまうようにも感じた。インタビューの中からも施設、家族との関わりだけに留まってしまうように感じた。今回私たち学生が対象者にインタビューをしたことから利用者にとっても受け入れやすかったのか、利用者から積極的に話をしてくれる方もいた。日頃から話をしたい方がいることがわかり、普段、施設でその欲求が満たされていないように感じた。
 - 今回のインタビュー調査の対象者は施設側が言語コミュニケーションのできる人を選んでくれていたため、家族や職員の影響を強く受けている中でも自分の考えを言えている人が多いように感じた。だが作業所にも言語コミュニケーションがとれない人もいて、そのような人の意向はどのようにして汲み取っていけばよいのか、意見を反映させる場面が少ないのではないのかとも思った。
 - 現在の仕事を続けていきたいと答える方が多く、自立を考えている方が少ないのではないかと思った。また一般企業に関しての関心も少ないように感じ、仕事に対しての具体的なイメージをついていないように感じた。仕事に対しては自分の将来にも関係することなのでもう少し具体性が持てた回答を得られてもよかったように感じた。
- グループ2. 小石川福祉作業所
 - インタビュー前日に施設を見学させていただいた。施設の種別や運営方針、利用者の人数などを事前に把握できたので、インタビューの時に役立った。
 - インタビュー中では、活発に意見を言ってくれる利用者にはばかり注意が向いてしまった。他の利用者からの意見を十分に聞き取ることが出来なかった。
- グループ3. 動坂福祉会館
 - その日の気分により、なかなかインタビューに回答してくれなかった利用者がいた。
 - 質問時に回答しやすいよう、具体例を交えてみたがこれにより回答を誘導してしまったように思う。
 - グレーゾーン(生活介護を受けるほど重度ではないが、強い就労希望は持っておらず福祉作業所等の利用にいたらない者)の存在に気付いた。
- グループ4. 本郷福祉センター(若駒の里) & だんござかハウス
 - どちらの調査もイラストを用いた調査を行ったが、気になったものを複数指差すなど本人の意思をきちんと反映したとは言い難い結果となった。
 - 利用者が希望する将来は本人の施設での経験や趣味の延長線上にあるものも多く、日々の生活が将来像にも影響していることがここから伺える
- グループ5. はへと・ピア
 - 利用者のことを想定しながら、調査用紙・質問内容を決定する。
 - 職員同席の方が良い。

- グループインタビュー形式のメリットとデメリットがある。
 - ✧ メリット：他の人と相談していた。
 - デメリット：待ち時間が長く、質問対象者が暇をしてしまう。
- 挙手制のメリットとデメリットがある。
 - ✧ メリット：時間短縮につながり、対象者の負担が減る。
 - デメリット：回答に深く追求できない。
- グループ6. ワークショップやまどり
 - 立ち上がる、退室しようとするといった行動を取る方がいたため、インタビューが中断することがしばしばあった。
 - 口頭によるコミュニケーションが難しい方がいたため、イラストを使用したインタビューを行った。同じように、質問の意図を中々理解できない方もいたが、質問時に具体例など出すなどして回答しやすいよう心がけた。これらについて、回答がスムーズになった面もあったが、一方で回答を誘導してしまった可能性が考えられる。
 - 興味のない話題に対してはあまり回答してもらえなかった。
 - 調査をする際のグルーピングにやや問題があった。(人数配置など)
- グループ7. 工房わかぎり
 - 学生3人に対象者と施設長という形でインタビューを行ったので緊張してしまうかと思っただが、そんなに緊張していた様子はなかった。逆に、施設長の同席があったことで施設での困りごと等あったとしても言えなかったのかもしれないと思った。
 - 社交的な方が多く、たくさん話してくれようという気持ちがとても伝わり、面接時間は少しかかってしまったが、いろいろな回答が得られたのでよかったと思う。
- グループ8. ドリームハウス、エルムンド小石川、わかぎりの家
 - グループホームの調査に関しては、他の調査と比べ、身近な人以外との結びつきが強いと感じた。たとえば、人間関係については家族、施設職員だけでなく、友人や以前通っていた学校の先生等が挙がった。
 - 地域との関わりについては、習い事や趣味等の施設内行われているものだけではなく、お祭りやコンサートの地域行事等、施設外で開催される行事への参加も多く見受けられた。
 - 実際のインタビューについては、本人からの意見(回答)が聞き取りづらい場面があった。その際は、施設職員の手助けをいただき、質問の回答を得た。このような場面を含め、インタビューの様子から、ほとんどの方が職員と良い関係を築けているように感じた。

結びに

「知的障がい者の声なき声を聴く。」これがこの聴き取り調査の大きな目的であった。声なき声を聴くとは、障がい当事者とのラポールを形成し、当事者の発言に耳を傾け、文字通り、耳はもちろん、十分に目と心を使って、話を聴く態度を表明し、どのような小さなことでも拾い集める作業である。

そして時間と空間を共有した者だからこそできる解釈をし、当事者のメッセージを文字化することである。そのことが、次年度以降の行政の施策に反映されることを望みながら調査が実施された。学生最後の夏をこの調査のために費やした学生と、その学生の調査を可能にくださった文京区障害福祉課、区内施設の関係各位に感謝申し上げる次第である。

文京区障害者(児)実態・意向調査調査票

身体障害

1. 本人について

問1 この調査に回答されているのはどなたですか。(1つに○)

- 1 ご本人が回答し、自分で記入
- 2 ご本人が回答し、家族の方や支援員などが代筆
- 3 家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答
- 4 その他 ()

【これ以降の問は、あて名ご本人についてお答えください】

問2 あなたの性別に○をつけ、年齢を記入してください。

〔性別〕 1 男 2 女

〔年齢〕 _____ 歳 (平成25年10月1日現在)

問3 あなたのお持ちの手帳に○をつけ、その障害の程度を記入してください。申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳 _____ 級
- 2 愛の手帳 (東京都療育手帳) _____ 度【申請中】
- 3 精神障害者保健福祉手帳 _____ 級【申請中】
- 4 難病の医療券【申請中】

問4 あなたは介護認定を受けていますか。受けている方は介護度をお書きください。

要支援 () 度 要介護 () 度

問5 あなたの障害の部位、症状について、次のうちからお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1 視覚 | 7 下肢 | 13 小腸機能 |
| 2 聴覚 | 8 片麻痺 | 14 直腸・膀胱機能 |
| 3 平衡機能 | 9 体幹機能 | 15 免疫機能 |
| 4 音声・言語 | 10 心臓機能 | 16 肝臓機能 |
| 5 そしゃく機能 | 11 呼吸器機能 | 17 精神疾患 |
| 6 上肢 | 12 腎臓機能 | 18 その他 () |

問6 あなたは、現在どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------|----------|------------|
| 1 配偶者 | 4 父母 | 7 祖父母 |
| 2 子ども | 5 配偶者の父母 | 8 その他 () |
| 3 孫 | 6 兄弟姉妹 | 9 同居家族はいない |

問7 あなたは、意思の伝達をする場合、特別な技術や用具を使っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 使っていない | 5 文字盤・トーキングエイド |
| 2 口話・手話 | 6 点字 |
| 3 補聴器や人口内耳等の補聴機器 | 7 その他 () |
| 4 筆談・要約筆記 | |

2. 住居について

問8 あなたのお住まいについて、あてはまるものを次のうちからお選びください。

(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------------------------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 6 グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム等（数人で共同生活をする住居） |
| 2 持ち家（集合住宅） | 7 入所施設などの福祉施設 |
| 3 民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅） | 8 その他 () |
| 4 社宅・公務員住宅 | |
| 5 都営・公社・公団などの公営賃貸住宅 | |

問9 あなたは現在のお住まいで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 手すりがない | 8 住宅が老朽化している |
| 2 トイレや浴室等が使いづらい、またはない | 9 家賃が高い |
| 3 階段が急である | 10 隣近所との関係が良くない |
| 4 段差がある | 11 その他 () |
| 5 廊下が狭くて車いす等が使えない | 12 特に困っていることはない |
| 6 エレベーターがない | |
| 7 部屋の間取りなどの理由により、ベッドが使えない | |

問10 現在のお住まいを改善する際に、課題となることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 家主や他の住民から同意が得られない | 5 どこに相談すればいいかわからない |
| 2 家族の同意が得られない | 6 その他 () |
| 3 費用の都合がつかない | 7 困っていることはない |
| 4 増改築などが構造的に無理である | |

3. 収入・年金について

問 11 あなたの世帯はどのような収入をもとに暮らしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

単身の方は、あなた自身の収入についてのみ、回答してください。

あなた自身の収入		あなたを含めた家族全体の収入	
1	自分で働いて得た収入	1	働いて得た収入
2	自分の年金・手当	2	年金・手当や恩給
3	自分の預貯金の利子や株の配当	3	預貯金の利子や株の配当
4	自分の不動産等の財産収入	4	不動産等の財産収入
5	自分の預貯金を下ろす	5	預貯金を下ろす
6	家族からの援助(仕送り)	6	親族からの援助(仕送り)
7	家族以外からの援助	7	生活保護
8	生活保護	8	その他
9	その他		
10	収入はない		

問 12 年金・手当・仕送りなどをすべて合わせて、あなたの世帯の1か月の収入はおおよそいくらですか。(1つに○)

あなたの世帯の1か月あたりの収入			
1	～10万円未満	6	40万円～50万円未満
2	10万円～15万円未満	7	50万円～75万円未満
3	15万円～20万円未満	8	75万円～100万円未満
4	20万円～30万円未満	9	100万円以上
5	30万円～40万円未満	10	わからない

問 13-① あなたは障害基礎年金や障害厚生年金を受給していますか。(1つに○)

- 1 受給している 2 受給していない 3 わからない

問 13-② 問 13-①で「2 受給していない」と答えた方にお聞きします。障害基礎年金や障害厚生年金を受給していない理由についてお答えください。(1つに○)

- 1 制度を知らない 4 経済的には困っていない
 2 受給資格がない 5 その他 ()
 3 手続きの方法がわからない

4. 就労の状況について

問 14-① あなたは、現在仕事をしていますか。(1つに○)

- 1 会社・団体等の正規雇用で仕事をしている
- 2 パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている
- 3 自営業など自宅等で収入のある仕事をしている
- 4 作業所等の福祉施設で働いている
- 5 その他 ()
- 6 働いていない

問 14-② 問 14-①で「3～6」と答えた方にお聞きします。あなたは一般企業（非正規雇用を含む）への就職を希望しますか。(1つに○)

- 1 希望する
- 2 希望しない
- 3 わからない

問 14-③ 問 14-①で「1～5」と答えた方にお聞きします。あなたの1か月あたりの給与（賃金・工賃）はおよそいくらですか。(1つに○)

あなた自身の1か月あたりの給与(賃金・工賃)	
1 1万円未満	6 15万円～20万円未満
2 1万円～2万円未満	7 20万円～30万円未満
3 2万円～5万円未満	8 30万円以上
4 5万円～10万円未満	9 わからない
5 10万円～15万円未満	

問 14-④ 問 14-①で「1～5」と答えた方にお聞きします。あなたが現在働いている職場や仕事・作業に不安や不満はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 収入が少ない
- 2 作業内容が難しい
- 3 休みがとりにくい
- 4 就業時間を軽減する制度がない
- 5 作業ペースが他の人と合わない
- 6 職場の人間関係がうまくいかない
- 7 体力的な負担が大きい
- 8 精神的な負担が大きい
- 9 雇用形態が不安定
- 10 障害者用の設備が整っていない
- 11 昇給や昇進が不平等である
- 12 通勤の負担が大きい
- 13 その他()
- 14 特にない

問 15 **全員の方にお聞きします。**障害者が働くためには、どのような支援や環境が整っていることが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 就労に結びつく技術や知識の習得
- 2 就職活動に必要な情報の提供
- 3 障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること
- 4 職場の施設面での整備
- 5 ジョブコーチ等職場で就労を支援する援助者
- 6 職場の上司や同僚の理解と協力
- 7 就労継続のための企業からのカウンセリングや支援
- 8 通勤手段等についての企業側の配慮
- 9 健康状態に合わせた、企業側の柔軟な対応や配慮
- 10 その他 ()
- 11 特にない
- 12 わからない

5. 介助の状況について

※以下介助とは、障害者への介助、支援、見守りなどを含みます。

問 16-① あなたは介助を必要としていますか。(1つに○)

- 1 常時必要
- 2 部分的に必要
- 3 必要ない

問 16-② **問 16-①で「1 常時必要」または「2 部分的に必要」に○をつけた方にうかがいます。**あなたを日頃主に介助している方はどなたですか。(1つに○)

- 1 配偶者
- 2 父母(配偶者の親を含む)
- 3 子(子の配偶者を含む)
- 4 兄弟姉妹
- 5 その他の親族
- 6 施設職員
- 7 訪問看護師
- 8 ホームヘルパー
- 9 ボランティア
- 10 その他()
- 11 介助してくれる人がいない

【ここから問 20 までは介助をしている家族・親族の方のうちがいます】

問 17 主に介助をしている方の性別と年齢を記入してください。

[性別] 1 男 2 女

[年齢] _____ 歳(平成 25 年 10 月 1 日現在)

問 18 主に介助をしている方がお困りのことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 食事の介助 | 7 近所・友人づきあいに影響 |
| 2 トイレの介助 | 8 休む時間がない・休養がとれない |
| 3 入浴の介助 | 9 買い物・外出が気軽にできない |
| 4 病気の看護 | 10 介助の方法がわからない |
| 5 仕事との両立が難しい | 11 その他(具体的に) |
| 6 家事・育児への影響 | 12 特に困っていない |

問 19 主に介助している方が病気、休養、冠婚葬祭等で一時的に介助ができないときはどうしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 同居の家族に頼む | 5 その他の公的サービスを利用する |
| 2 同居していない家族・親族に頼む | (具体的に) |
| 3 近所の知人・友人に頼む | 6 何もあてがなく困っている |
| 4 ホームヘルパーを頼む | |

問 20 介助をする上で、主に介助している方の負担の感じ方はどのくらいですか。次にあげるア～ウについて、それぞれあてはまるものを1～4のなかから選んでください。(それぞれ1つに○をつけてください)

	1 とても高い	2 高い	3 低い	4 ない (感じない)
ア 身体的負担	1	2	3	4
イ 精神的負担	1	2	3	4
ウ 経済的負担	1	2	3	4

【ここまでで介助をされている方への質問を終わります】

6. 日々の生活について

問 21 日中は主にどこで過ごしていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1 一般企業等で就労している(自営業も含む) | 5 自宅にすることが多い |
| 2 学校・保育園・幼稚園等に通っている | 6 趣味・習い事・散歩などの余暇活動の場で過ごすことが多い |
| 3 障害者施設等で過ごしている | |
| 4 入院している | 7 その他() |

問 22 あなたが生活する上で、手助けが必要なことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1 外出や買い物の同行 | 8 入浴介助 |
| 2 散歩など余暇活動での同行 | 9 金銭管理 |
| 3 通院の同行 | 10 服薬管理 |
| 4 家事（食事の支度、掃除、洗濯等）援助 | 11 情報の入手等（手話、朗読、代筆、要約筆記等含む） |
| 5 食事介助 | 12 その他（ ） |
| 6 排泄介助 | 13 介助を必要とすることは特にな |
| 7 衣服の着脱介助 | |

問 23 現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 自分自身の病気や障害が悪化すること | 7 介助者がいなくなる |
| 2 将来の生活のこと | 8 障害者に対する周囲の理解不足 |
| 3 仕事がなくなる | 9 緊急時における避難等の対応 |
| 4 収入や生計、財産の管理のこと | 10 周囲の人との関係について |
| 5 親の介護のこと | 11 不安や心配に感じることは特にな |
| 6 子どもの養育のこと | 12 その他（ ） |

問 24 日中活動として、あなたは、今後どのような過ごし方、通所先、就学先等を希望していますか。(1つに○)

- 1 自宅で過ごす
- 2 福祉作業所等の就労移行・就労継続支援施設に通所する
- 3 生活介護等を行う障害者施設に通所する
- 4 障害者施設に入所する
- 5 介護療養型医療施設等に入所する
- 6 就職する、または仕事を継続する
- 7 特別支援学級・特別支援学校に就学する
- 8 地域の小中学校・高校の通常の学級に就学する
- 9 児童発達支援を行う施設に通所する
- 10 その他（ ）

問 25 余暇活動についてお聞きします。今後余暇活動で参加したいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

* スポーツを選んだ方は（ ）内にスポーツの種目もお書きください。

* 区等が主催しているイベントを選んだ方は（ ）内の種類にも○をつけてください。

- | | |
|---|----------|
| 1 演劇、コンサート等の鑑賞 | 7 その他（ ） |
| 2 教養・学習活動 | 8 特にな |
| 3 スポーツ（具体的に） | |
| 4 ボランティア | |
| 5 音楽・ダンス等の参加型イベント | |
| 6 区等が主催しているイベント（ふれあいの集い、合同運動会、心身障害者（児）レクリエーション、ステージ・エコ、5大花まつり等） | |

7. 外出・地域環境などについて

問 26 日頃あなたはどれくらい外出（通勤、通学、通院等を含む）しますか。（1つに○）

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 月に1～2回程度 |
| 2 週に3～5日程度 | 5 まったく、またはほとんど外出しない |
| 3 週に1～2日程度 | |

問 27 外出の目的にはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 買い物 | 6 ボランティアや地域行事への参加 |
| 2 通院 | 7 友人と会うため |
| 3 通勤や通学 | 8 散歩 |
| 4 福祉作業所などの福祉施設への通所 | 9 特になし |
| 5 趣味・スポーツなどへの参加 | |

問 28 外出の際に困ることは何ですか。（特にあてはまるものを3つまで○）

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 電車、バス、タクシー等の乗降 | 10 乗車券の購入・料金の支払いが困難 |
| 2 歩道、道路、出入口の段差 | 11 自転車の運転マナーが悪く、危険を感じる |
| 3 階段の昇り降り | 12 発作など突然の体調の変化が心配 |
| 4 手すりがない | 13 外出時に必要なコミュニケーションが取りにくい |
| 5 路上の障害物（看板や放置自転車など） | 14 行動や発声のために奇異な目で見られる |
| 6 障害者が使えるトイレが少ない | 15 同伴者がいない |
| 7 標識・標示の案内がわかりにくい | 16 その他（ ） |
| 8 点字ブロック、盲人用信号がない | |
| 9 エレベーター等が未設置の場所がある | |

8. 相談について

問 29 あなたが困ったときや悩んだ時の相談先について、次のうちからお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 家族・親族 | 11 学校・保育園・幼稚園等の先生 |
| 2 友人・知人 | 12 スクールカウンセラー |
| 3 勤務先の人 | 13 介護支援相談員（ケアマネジャー） |
| 4 区の窓口（福祉・介護・保健所等） | 14 障害者団体 |
| 5 民生委員・児童委員 | 15 障害者福祉センター等の都や区の相談機関 |
| 6 身体障害者相談員 | 16 社会福祉協議会 |
| 7 ホームヘルパー | 17 その他（ ） |
| 8 病院・診療所の主治医 | 18 誰に相談すれば良いかわからない |
| 9 病院・診療所の相談員・ケースワーカー | 19 相談する必要を感じない |
| 10 施設の支援員 | |

問 30 あなたは、どのようなことについて相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 病気や障害の状態について | 8 学校のことについて |
| 2 仕事や職場のことについて | 9 親の介護について |
| 3 日々の生活の中での出来事について | 10 子どもの養育について |
| 4 通院する病院や診療所について | 11 恋愛・結婚について |
| 5 地域や趣味の活動について | 12 その他 () |
| 6 施設での出来事について | 13 特にない |
| 7 お金の使い方や管理について | |

9. 障害福祉サービス等の利用について

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく、障害福祉サービス等のご利用状況について伺います。

*** 障害福祉サービス等には大きく分けて訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、地域生活支援事業があります。**

訪問系サービス等	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、短期入所(ショートステイ)
日中活動系サービス	生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、児童発達支援、療養介護
居住系サービス	グループホーム、ケアホーム、施設入所支援等
地域生活支援事業	相談支援、移動支援、コミュニケーション支援、日常生活用具の給付等

- ★現在障害福祉サービス等を利用されている方は**[A]**の設問にお答えください。
- ★さらに、施設入所されている方は、**[B]**(問33～問36-④)についてもお答えください。
- ★障害福祉サービス等を利用していない方は**[C]**(問37)へお進み頂き、設問にお答えください。

[A] 障害福祉サービス等を利用している方へ

問31 現在利用されている障害福祉サービス等の量についてお聞きします。
 あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの量は足りていますか			
	1 足りている	2 ほぼ足りている	3 足りない	4 利用していない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3	4
短期入所(ショートステイ)	1	2	3	4
移動支援事業	1	2	3	4
コミュニケーション支援事業 (手話通訳、要約筆記者の派遣等)	1	2	3	4

問 32 利用されているサービスの内容についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの内容に満足していますか					
	1 満足 している	2 ほぼ満 足している	3 やや 不満足	4 不満足	5 どちらと もいえない	6 使って いない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3	4	5	6
就労移行 就労継続支援	1	2	3	4	5	6
短期入所 (ショートステイ)	1	2	3	4	5	6
生活介護・児童発達支援等 通所施設	1	2	3	4	5	6
施設入所支援	1	2	3	4	5	6
グループホーム ケアホーム	1	2	3	4	5	6
相談支援事業	1	2	3	4	5	6
移動支援事業	1	2	3	4	5	6
コミュニケーション支援事 業(手話通訳、要約筆記者の派遣等)	1	2	3	4	5	6
日常生活用具給付等事業	1	2	3	4	5	6

問 36-③ 問 36-①で「2 施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞き
します。施設を退所した後、どちらで生活したいですか。（1つに○）

- 1 自宅に帰って家族と生活したい
- 2 アパートなどを借りて一人で生活したい
- 3 グループホームなどで少人数の共同生活をしたい
- 4 その他（)
- 5 わからない

問 36-④ 問 36-①で「2 施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞き
します。施設を退所した後、どのような生活を送りたいですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 家族やヘルパーから介助を受けて生活したい
- 2 働いて自立した生活をしたい
- 3 通所施設などに通いながら生活したい
- 4 就労や通所はしないで生活したい
- 5 その他（具体的に)
- 6 わからない

⇒問 38 にお進みください

[C] 障害福祉サービス等を利用していない方へ

問 37 障害福祉サービス等があることを知っていますか。（1つに○）

- 1 サービスの内容を知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない
- 3 知らない

⇒問 38 にお進みください

問 38 全ての方にお聞きします。 今後、利用、または利用継続を希望するサービスはありますか。あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	今後サービスを利用したいですか		
	1 利用したい	2 利用したいと思わない	3 分からない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3
就労移行 就労継続支援	1	2	3
短期入所 (ショートステイ)	1	2	3
生活介護・児童発達支援等 通所施設	1	2	3
施設入所支援	1	2	3
グループホーム ケアホーム	1	2	3
相談支援事業	1	2	3
移動支援事業	1	2	3
コミュニケーション支援事業 (手話通訳、要約筆記者の派遣等)	1	2	3
日常生活用具給付等事業	1	2	3

10. 区におけるサービスについて

問 39 現在区で行っている、障害のある方への日常生活の支援について、利用状況と利用の意向をお聞かせください。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

		A	B	C
		このサービスを知っていますか。	<u>Aで「はい」と答えた方にお聞きします。</u> このサービスを使っていますか。	<u>Bで「いいえ」と答えた方にお聞きします。</u> このサービスを使いたいですか。
文京区のサービス	短期保護事業 (動坂福祉会館・藤の木荘)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	緊急一時介護委託費の助成	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	紙おむつの支給	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	緊急通報・火災安全システム	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	理美容サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	巡回入浴サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	軽度障害者入浴	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	障害者歯科健康診査・診療	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	福祉講座 (障害者地域自立生活支援センター)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	24時間緊急時相談支援事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	福祉タクシー	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
社会福祉協議会のサービス	権利擁護センター 「あんしんさぽーと文京」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	いきいきサービス (ホームヘルプ、食事、緊急通報)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	車いすの貸し出し	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	福祉車両の貸し出し	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	ファミリーサポートセンター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない

11. 災害対策・情報提供について

問 40 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 災害の情報を得ることができなかった
- 2 自力で避難することができなかった
- 3 家族やヘルパー等の介助者と連絡を取ることができなかった
- 4 利用している施設等の利用時間が短縮された
- 5 物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった
- 6 エレベーターや電車等の乗物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった
- 7 特になし
- 8 その他（ ）

問 41 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 災害の情報を得ることができない
- 2 災害の発生などを消防署や周囲の人へ連絡できない
- 3 初期消火ができない
- 4 自力で避難できない
- 5 知らない人と一緒に過ごすことに不安があり、避難所で生活することができない
- 6 避難所の段差や階段などのバリア
- 7 避難所での支援者がいるかどうかわからない
- 8 避難所での、障害のために必要となる特別なスペースの確保
- 9 避難所等におけるトイレの利用
- 10 医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保
- 11 自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保
- 12 その他（ ）
- 13 特になし
- 14 わからない

問 42-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。

（1つに○）

- 1 登録している
- 2 登録していないが、今後登録したい
- 3 登録していないが、今後も登録したくない
- 4 災害時要援護者名簿について知らない

災害時要援護者名簿

災害時に自力で避難することが困難な方（災害時要援護者）を発災時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

問 42-② 問 42-①で「3 登録したくない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 個人情報等を区に提出することに抵抗があるから
- 2 手続きする時間がないから
- 3 災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから
- 4 よくわからないから
- 5 登録する具体的なメリットがない(わからない)から
- 6 その他()

問 43 区が実施している障害者に対するサービスなどの情報は、あなたに届いていますか。

情報源となっているものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 障害者福祉のてびき | 7 障害者団体 |
| 2 区の窓口 | 8 家族・友人 |
| 3 区報 | 9 施設の支援員 |
| 4 区のホームページ、ツイッター | 10 テレビ・新聞 |
| 5 民生委員・児童委員 | 11 その他() |
| 6 身体障害者相談員 | 12 情報が届いていない |

問 44 あなたが必要な情報を得たいときに、困ることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 パソコン等の使い方が分からずインターネットの情報を得られない
- 2 情報を集めるための介助者が近くにいない
- 3 点字、SP コード、手話通訳などの情報支援体制が十分でない
- 4 どのように情報を得たらよいかのかが分からない
- 5 その他()
- 6 特に困ることはない

12. 生活のしづらさについて

問 45 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。

障害者が生活する中で不便と感じていることについて、以下の4つのバリア（＝“不便なこと・困ること”）に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。

4つのバリア (4つのうちいずれか1つに○をつけてください)	不便と感ずること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビや分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア（心の壁）

問 46 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 乗物や施設がバリアフリー化されていない
- 2 歩道の幅が狭く、安全に通れない
- 3 障害を理由とした資格取得の制限や大学入学等での制限があった（ある）
- 4 テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない
- 5 視覚に頼って読む・操作するものが多い（デジタル表示やタッチパネルなど）
- 6 困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある
- 7 外出時に周囲の視線が気になる
- 8 障害への理解不足等により、学校や職場で自分が傷つく言動にあった
- 9 店やレストランでの入店拒否
- 10 周りの人（介助者、施設の職員、職場の人等）から痛い思い・辛い思いをさせられた
- 11 その他（ ）

問 47 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------------------------|
| 1 | 研修・講演会等の開催 | 6 | 学校での福祉教育の推進 |
| 2 | パンフレット等での周知啓発 | 7 | 職場での障害理解の促進 |
| 3 | 障害者と地域との交流の機会の増加 | 8 | 障害者の社会活動の推進 |
| 4 | 子どもたちからの障害者（児）との交流 | 9 | その他（ ） |
| 5 | 障害児が地域の学校などに通うこと | | |

13. 要望事項

問 48 今後力を入れて欲しい施策や要望をお答えください。

(特にあてはまるものを5つまで○)

- 1 相談支援事業の充実
- 2 障害福祉サービス等の充実
- 3 通所施設の整備
- 4 グループホームの誘致
- 5 就労支援や職業訓練の充実
- 6 機能訓練回復事業の充実
- 7 緊急一時保護事業
- 8 障害者のための住宅施策の充実
- 9 医療費の軽減・医療制度の充実
- 10 道路・交通機関・公共機関の整備（バリアフリー）
- 11 より分かりやすい情報の提供
- 12 障害者が参加できる講座等の充実
- 13 障害及び障害者についての理解促進
- 14 障害者と地域の人との交流の促進
- 15 スポーツ・レクリエーション活動・文化活動の充実
- 16 ボランティアの育成・支援
- 17 障害者に配慮した防犯・防災対策の推進
- 18 その他（ ）

最後にご本人・ご家族の方にかかっています

【自由意見】

問 49 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

平成 25 年 10 月 21 日(月)までに、ポストに投函してください。

ぶんきょうくしょうがいしゃ じ じったい い こう ちょう さ ちょう さ ひょう 文京区障害者(児)実態・意向調査調査票

ち て き しょうがい 知的障害

1. 本人について

問1 この調査に回答されているのはどなたですか。

あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- ご本人が回答し、自分で記入
- ご本人が回答し、家族の方や支援員などが代筆
- 家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答
- その他 ()

【これ以降の間は、あて名のご本人についてお答えください】

問2 あなたの性別に○をつけ、年齢を記入してください。

- [性別] 1 男 2 女
- [年齢] _____ 歳 (平成25年10月1日現在)

問3 あなたのお持ちの手帳に○をつけ、その障害の程度を記入してください。申請中のものがある場合は、【申請中】に○をつけてください。

- 身体障害者手帳 _____ 級 【申請中】
- 愛の手帳 (東京都療育手帳) _____ 度
- 精神障害者保健福祉手帳 _____ 級 【申請中】
- 難病の医療券 【申請中】

問4 あなたの障害の部位、症状について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「8 肢体不自由」を選んだ方は () の中についても○をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------------|------------|
| 1 知的障害 | 7 音声・言語・そしゃく | 12 直腸・膀胱機能 |
| 2 自閉症・自閉傾向 | 8 肢体不自由 (上肢・下肢・ | 13 小腸機能 |
| 3 ダウン症 | 体幹・運動機能障害) | 14 免疫機能 |
| 4 てんかん | 9 心臓機能 | 15 肝臓機能 |
| 5 視覚 | 10 腎臓機能 | 16 精神疾患 |
| 6 聴覚・平衡機能 | 11 呼吸器機能 | 17 その他 () |

問5 あなたは、現在どなたと一緒に暮らしていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 配偶者
- 子ども
- 孫
- 父母
- 配偶者の父母
- 兄弟姉妹
- 祖父母
- その他 ()
- 同居家族はいない

問6 あなたは、意思の伝達をする場合（話をしたり、聞いたりする時は、特別な技術や用具を使っていますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1 使っていない | 6 点字 |
| 2 口話・手話 | 7 コミュニケーションカード
(コミュニケーションボード) |
| 3 補聴器や人口内耳等の補聴機器 | 8 その他 (具体的に) |
| 4 筆談・要約筆記 | |
| 5 文字盤・トーキングエイド | |

2. 住居について

問7 あなたのお住まいについてお聞きします。

あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 持ち家 (一戸建て) | 6 グループホーム・ケアホーム・福祉 |
| 2 持ち家 (集合住宅) | ホーム等 (数人で共同生活をする住居) |
| 3 民間賃貸住宅 (一戸建て・集合住宅) | 7 入所施設などの福祉施設 |
| 4 社宅・公務員住宅 | 8 その他 () |
| 5 都営・公社・公団などの公営賃貸住宅 | |

問8 あなたは現在のお住まいで困っていることはありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 手すりがない | 8 住宅が老朽化している |
| 2 トイレや浴室等が使いづらい、またはない | 9 家賃が高い |
| 3 階段が急である | 10 隣近所との関係が良くない |
| 4 段差がある | 11 その他 () |
| 5 廊下が狭くて車いす等が使えない | 12 特に困っていることはない |
| 6 エレベーターがない | |
| 7 部屋の間取りなどの理由により、ベッドが使えない | |

問9 現在のお住まいを改善する際に、課題となることはありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 家主や他の住民から同意が得られない | 5 どこに相談すればいいかわからない |
| 2 家族の同意が得られない | 6 その他 () |
| 3 費用の都合がつかない | 7 困っていることはない |
| 4 増改築などが構造的に無理である | |

3. 収入・年金について

問10 あなたの世帯はどのような収入をもとに暮らしていますか。次の収入を得ている方法について、あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。なお、おひとりでお住まいの方は、あなた自身の収入についてののみ、回答してください。

あなた自身の収入		あなたを含めた家族全体の収入	
1	自分で働いて得た収入	1	働いて得た収入
2	自分の年金・手当	2	年金・手当や恩給
3	自分の預貯金の利子や株の配当	3	預貯金の利子や株の配当
4	自分の不動産等の財産収入	4	不動産等の財産収入
5	自分の預貯金を下ろす	5	預貯金を下ろす
6	家族からの援助（仕送り）	6	親族からの援助（仕送り）
7	家族以外からの援助	7	生活保護
8	生活保護	8	その他
9	その他		
10	収入はない		

問11 年金・手当・仕送りなどをすべて合わせて、あなたの世帯の1か月の収入はおおよそいくらですか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

あなたの世帯の1か月あたりの収入	
1	～10万円未満
2	10万円～15万円未満
3	15万円～20万円未満
4	20万円～30万円未満
5	30万円～40万円未満
6	40万円～50万円未満
7	50万円～75万円未満
8	75万円～100万円未満
9	100万円以上
10	わからない

問12-① あなたは障害基礎年金や障害厚生年金を受給していますか。

あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- 1 受給している 2 受給していない 3 わからない

問12-② 問12-①で「2 受給していない」と答えた方にお聞きします。障害基礎年金や障害厚生年金を受給していない理由について、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- 1 制度を知らない 4 経済的には困っていない
 2 受給資格がない 5 その他 ()
 3 手続きの方法がわからない

4. 就労の状況について

問13-① あなたは、現在仕事をしていますか。

あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- 1 会社・団体等の正規雇用で仕事をしている
- 2 パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている
- 3 自営業など自宅等で収入のある仕事をしている
- 4 作業所や就労支援事業所等の福祉施設で働いている
- 5 その他 ()
- 6 働いていない

問13-② 問13-①で「3～6」と答えた方にお聞きします。あなたは一般企業（非正規雇用を含む）への就職を希望しますか。

あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

- 1 希望する
- 2 希望しない
- 3 わからない

問13-③ 問13-①で「1～5」と答えた方にお聞きします。あなたの1か月あたりの給与（賃金・工賃）はおよそいくらですか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

あなた自身の1か月あたりの給与(賃金・工賃)	
1	～ 1万円未満
2	1万円～ 2万円未満
3	2万円～ 5万円未満
4	5万円～10万円未満
5	10万円～15万円未満
6	15万円～20万円未満
7	20万円～30万円未満
8	30万円以上
9	わからない

問13-④ 問13-①で「1～5」と答えた方にお聞きします。あなたが現在働いている職場や仕事・作業に不安や不満はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 収入が少ない
- 2 作業内容が難しい
- 3 休みがとりにくい
- 4 就業時間を軽減する制度がない
- 5 作業ペースが他の人と合わない
- 6 職場の人間関係がうまくいかない
- 7 体力的な負担が大きい
- 8 精神的な負担が大きい
- 9 雇用形態が不安定
- 10 障害者用の設備が整っていない
- 11 昇給や昇進が不平等である
- 12 通勤の負担が大きい
- 13 その他 ()
- 14 特にない

問14 全員の皆様にお聞きします。障害者が働くためには、どのような支援や環境が整っていることが大切だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 就労に結びつく技術や知識の習得
- 2 働くうえでの決まりごとの習得
- 3 就職活動に必要な情報の提供
- 4 障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること
- 5 職場の施設面での整備
- 6 ジョブコーチ等職場で就労を支援する援助者
- 7 職場の上司や同僚の理解と協力
- 8 就労継続のための企業からのカウンセリングや支援
- 9 通勤手段等についての企業側の配慮
- 10 健康状態に合わせた、企業側の柔軟な対応や配慮
- 11 その他 ()
- 12 特にない
- 13 わからない

5. 介助の状況について

※以下介助とは、障害者への介助、支援、見守りなどを含みます。

問15-① あなたは介助を必要としていますか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

- 1 常に必要
- 2 部分的に必要
- 3 必要ない

問15-② 問15-①で「1 常に必要」または「2 部分的に必要」に○をつけた方にうかがいます。あなたを日頃主に介助している方はどなたですか。主なものを1つ選び、○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------|-----------------|
| 1 配偶者 | 5 その他の親族 | 9 ボランティア |
| 2 父母（配偶者の親を含む） | 6 施設職員 | 10 その他 () |
| 3 子（子の配偶者を含む） | 7 訪問看護師 | 11 介助してくれる人がいない |
| 4 兄弟姉妹 | 8 ホームヘルパー | |

【ここから問19までは介助をしている家族・親族の方にうかがいます】

問16 主に介助をしている方の性別と年齢を記入してください。

〔性別〕 1 男 2 女
 〔年齢〕 _____ 歳（平成25年10月1日現在）

問17 主に介助をしている方がお困りのことは何ですか。

あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 食事の介助 | 7 近所・友人づきあいに影響 |
| 2 トイレの介助 | 8 休む時間がない・休養がとれない |
| 3 入浴の介助 | 9 買い物・外出が気軽にできない |
| 4 病気の看護 | 10 介助の方法がわからない |
| 5 仕事との両立が難しい | 11 その他（具体的に） |
| 6 家事・育児への影響 | 12 特に困っていない |

問18 主に介助している方が病気、休養、冠婚葬祭等で一時的に介助ができないときはどうしていますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 同居の家族に頼む | 5 その他の公的サービスを利用する |
| 2 同居していない家族・親族に頼む | (具体的に) |
| 3 近所の知人・友人に頼む | 6 何もあてがなく困っている |
| 4 ホームヘルパーを頼む | |

問19 介助をする上で、主に介助している方の負担の感じ方はどのくらいですか。次にあげるア～ウについて、それぞれあてはまるものを1～4のなかから選んでください。
(それぞれ1つに○をつけてください)

	1 とても高い	2 高い	3 低い	4 ない (感じない)
ア 身体的負担	1	2	3	4
イ 精神的負担	1	2	3	4
ウ 経済的負担	1	2	3	4

【ここまでで介助をされている方への質問を終わります】

6. 日々の生活について

問20 日中は主にどこで過ごしていますか。主なもの1つを選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1 一般企業等で就労している(自営業も含む) | 5 自宅にすることが多い |
| 2 学校・保育園・幼稚園等に通っている | 6 趣味・習い事・散歩などの余暇 |
| 3 障害者施設等で過ごしている | 活動の場で過ごすことが多い |
| 4 入院している | 7 その他 |
- ()

問21 あなたが生活する上で、手助けが必要なことは何ですか。

あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1 外出や買い物の同行 | 9 金銭管理 |
| 2 散歩など余暇活動での同行 | 10 服薬管理 |
| 3 通院の同行 | 11 情報の入手等（手話、朗読、
代筆、要約筆記等含む） |
| 4 家事（食事の支度、掃除、
洗濯等）援助 | 12 区役所や病院などでの手続き |
| 5 食事介助 | 13 相談相手 |
| 6 排泄介助 | 14 その他（ ） |
| 7 衣服の着脱介助 | 15 介助を必要とすることは特にな |
| 8 入浴介助 | |

問22 現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。

あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 自分自身の病気や障害が悪化すること | 7 介助者がいなくなる |
| 2 将来の生活のこと | 8 障害者に対する周囲の理解不足 |
| 3 仕事がなくなる | 9 緊急時における避難等の対応 |
| 4 収入や生計、財産の管理のこと | 10 周囲の人との関係について |
| 5 親の介護のこと | 11 不安や心配に感じることは特にな |
| 6 子どもの養育のこと | 12 その他（ ） |

問23 日中活動として、あなたは、今後どのような過ごし方、通所先、就学先等を希望し

ていますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- 1 自宅で過ごす
- 2 福祉作業所等の就労移行・就労継続支援施設、地域活動支援センター等に通所する
- 3 生活介護等を行う障害者施設に通所する
- 4 障害者施設に入所する
- 5 仕事をする（アルバイトも含む）、または仕事を継続する
- 6 特別支援学級・特別支援学校に就学する
- 7 地域の小中学校・高校の通常の学級に就学する
- 8 児童発達支援を行う施設に通所する
- 9 その他（ ）

問24 余暇活動についてお聞きします。今後余暇活動で参加したいと思うものはありますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

* スポーツを選んだ方は () 内にスポーツの種目もお書きください。

* 区等が主催しているイベントを選んだ方は () 内の種類にも○をつけてください。

- 1 演劇、コンサート等の鑑賞
- 2 教養・学習活動
- 3 スポーツ (具体的に)
- 4 ボランティア
- 5 音楽・ダンス等の参加型イベント
- 6 区等が主催しているイベント (ふれあいの集い、合同運動会、心身障害者 (児) レクリエーション、ステージ・エコ、5大花まつり等)
- 7 その他 ()
- 8 特にない

7. 外出・地域環境などについて

問25 日頃あなたはどれくらい外出 (通勤、通学、通院等を含む) しますか。

あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に3～5日程度
- 3 週に1～2日程度
- 4 月に1～2回程度
- 5 まったく、またはほとんど外出しない

問26 外出の目的にはどのようなものがありますか。あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- 1 買い物
- 2 通院
- 3 通勤や通学
- 4 作業所などの福祉施設への通所
- 5 趣味・スポーツなどへの参加
- 6 ボランティアや地域行事への参加
- 7 友人と会うため
- 8 散歩
- 9 特にない

問27 外出の際に困ることは何ですか。

特にあてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 電車、バス、タクシー等の乗降 | 13 外出時に必要なコミュニケーション |
| 2 歩道、道路、出入口の段差 | 14 ケーションが取りにくい |
| 3 階段の昇り降り | 15 行動や発声のために奇異な目で見られる |
| 4 手すりがない | 16 多動やこだわりのため、安全確保等が難しい |
| 5 路上の障害物（看板や放置自転車など） | 17 人が多くて疲れる |
| 6 障害者が使えるトイレが少ない | 18 電車、バス、タクシー等の乗り換えが複雑で難しい |
| 7 標識・標示の案内がわかりにくい | 19 目的地への行き方がわからない |
| 8 点字ブロック、盲人用信号がない | 20 同伴者がいない |
| 9 エレベーター等が未設置の場所がある | |
| 10 乗車券の購入・料金の支払いが困難 | |
| 11 自転車の運転マナーが悪く、危険を感じる | |
| 12 発作など突然の体調の変化が心配 | |

()

8. 相談について

問28 あなたが困ったときや悩んだ時の相談先について、次のうちからお選びください。

あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1 家族・親族 | 11 学校・保育園・幼稚園等の先生 |
| 2 友人・知人 | 12 スクールカウンセラー |
| 3 勤務先の人 | 13 介護支援相談員（ケアマネジャー） |
| 4 区の窓口（福祉・介護・保健所等） | 14 障害者団体 |
| 5 民生委員・児童委員 | 15 家族会 |
| 6 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | 16 障害者福祉センター・精神保健センター等の都や区の相談機関 |
| 7 ホームヘルパー | 17 東京都発達障害者支援センター（TOSCA） |
| 8 病院・診療所の主治医 | 18 社会福祉協議会 |
| 9 病院・診療所の相談員・ケースワーカー | 19 その他（ ） |
| 10 施設の支援員 | 20 誰に相談すれば良いかわからない |
| | 21 相談する必要を感じない |

問29 あなたは、どのようなことについて相談していますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 病気や障害の状態について | 8 学校のことについて |
| 2 仕事や職場のことについて | 9 親の介護について |
| 3 日々の生活の中での出来事について | 10 子どもの養育について |
| 4 通院する病院や診療所について | 11 恋愛・結婚について |
| 5 地域や趣味の活動について | 12 その他 () |
| 6 施設での出来事について | 13 特にない |
| 7 お金の使い方や管理について | |

9. 障害福祉サービス等の利用について

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害福祉サービス等のご利用状況について伺います。

* 障害福祉サービス等には大きく分けて訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、地域生活支援事業があります。

訪問系サービス等	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、短期入所(ショートステイ)
日中活動系サービス	生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、児童発達支援、療養介護
居住系サービス	グループホーム、ケアホーム、施設入所支援等
地域生活支援事業	相談支援、移動支援、コミュニケーション支援、日常生活用具の給付等

- ★現在障害福祉サービス等を利用されている方は【A】の設問にお答えください。
- ★さらに、施設入所されている方は、【B】(問32～問35-④)についてもお答えください。
- ★障害福祉サービス等を利用していない方は【C】(問36)へお進み頂き、設問にお答えください。

[A] 障害福祉サービス等を利用している方へ

問30 現在利用されている障害福祉サービス等の量についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの量は足りていますか			
	1 足りている	2 ほぼ足りている	3 足りない	4 利用していない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3	4
短期入所 (ショートステイ)	1	2	3	4
移動支援事業	1	2	3	4
コミュニケーション支援事業 (手話通訳、要約筆記者の派遣等)	1	2	3	4

問31 利用されているサービスの内容についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの内容に満足していますか					
	1 満足している	2 ほぼ満足している	3 やや不満	4 不満	5 どちらともいえない	6 使っていません
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3	4	5	6
就労移行 就労継続支援	1	2	3	4	5	6
短期入所 (ショートステイ)	1	2	3	4	5	6
生活介護・児童発達支援等 通所施設	1	2	3	4	5	6
施設入所支援	1	2	3	4	5	6
グループホーム ケアホーム	1	2	3	4	5	6
相談支援事業	1	2	3	4	5	6
移動支援事業	1	2	3	4	5	6
コミュニケーション支援 事業(手話通訳、要約筆記者の派遣等)	1	2	3	4	5	6
日常生活用具給付等事業	1	2	3	4	5	6

とい 問35-② 問35-①で「1 施設で生活したい」に○をつけた方にお聞きします。施設で生活

したい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 入所者や職員との関係が良好なため
- 2 施設での生活に満足しているため
- 3 今の在宅サービス基盤では、自立した生活ができないため
- 4 周囲の理解が得られないため
- 5 家族の理解が得にくかったり、遠慮してしまうため
- 6 住環境が悪く、自宅などに戻っても生活ができないため
- 7 経済的に難しいため
- 8 施設を出た後で、支援してくれる人がいないため
- 9 健康面などで不安があるため
- 10 その他 ()

⇒問37にお進みください

とい 問35-③ 問35-①で「2 施設を出て地域(文京区)で生活したい」と答えた方にお聞き

します。施設を退所した後、どちらで生活したいですか。あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

- 1 自宅に帰って家族と生活したい
- 2 アパートなどを借りて一人で生活したい
- 3 グループホームなどで少人数の共同生活をしたい
- 4 その他 ()
- 5 わからない

とい 問35-④ 問35-①で「2 施設を出て地域(文京区)で生活したい」と答えた方にお聞き

します。施設を退所した後、どのような生活を送りたいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家族やヘルパーから介助を受けて生活したい
- 2 働いて自立した生活をしたい
- 3 通所施設などに通いながら生活したい
- 4 就労や通所はしないで生活したい
- 5 その他 (具体的に)
- 6 わからない

⇒問37にお進みください

[C] 障害福祉サービス等を利用していない方へ

問36 障害福祉サービス等があることを知っていますか。

あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

- 1 サービスの内容を知っている
 - 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない
 - 3 知らない
- ⇒問37にお進みください

問37 全ての方にお聞きします。 今後、利用、または利用継続を希望するサービスはありますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	今後サービスを利用したいですか		
	1 利用したい	2 利用したいとおも思わない	3 分からない
居宅介護 <small>(重度訪問介護、行動援護含む)</small>	1	2	3
就労移行 就労継続支援	1	2	3
短期入所 <small>(ショートステイ)</small>	1	2	3
生活介護・児童発達支援等 通所施設	1	2	3
施設入所支援	1	2	3
グループホーム ケアホーム	1	2	3
相談支援事業	1	2	3
移動支援事業	1	2	3
コミュニケーション支援事業 <small>(手話通訳、要約筆記者の派遣等)</small>	1	2	3
日常生活用具給付等事業	1	2	3

10. 区におけるサービスについて

問38 現在区で行っている、障害のある方への日常生活の支援について、利用状況と利用の意向をお聞かせください。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

		A	B	C
		このサービスを知っていますか。	Aで「はい」と答えた方にお聞きします。 このサービスを使っていますか。	Bで「いいえ」と答えた方にお聞きします。 このサービスを使いたいですか。
文京区 のサービス	短期保護事業 (動坂福祉会館・藤の木荘)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	緊急一時介護委託費の助成	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	紙おむつの支給	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	緊急通報・火災安全システム	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	理美容サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	巡回入浴サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	軽度障害者入浴	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	障害者歯科健康診査・診療	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	福祉講座 (障害者地域自立生活支援センター)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
24時間緊急時相談支援事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない	
福祉タクシー	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない	
社会福祉協議会 のサービス	権利擁護センター 「あんしんさぽーと文京」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	いきいきサービス (ホームヘルプ、食事、緊急通報)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	車いすの貸し出し	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	福祉車両の貸し出し	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	ファミリーサポートセンター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない

11. 災害対策・情報提供について

問39 東日本大震災（平成23年3月11日）において、あなたが困ったことは何ですか。

あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- 1 災害の情報を得ることができなかった
- 2 自力で避難することができなかった
- 3 家族やヘルパー等の介助者と連絡を取ることができなかった
- 4 利用している施設等の利用時間が短縮された
- 5 物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった
- 6 エレベーターや電車等の乗物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった
- 7 特になし
- 8 その他（ ）

問40 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。

あてはまるものすべてを選び、○をつけてください。

- 1 災害の情報を得ることができない
- 2 災害の発生などを消防署や周囲の人へ連絡できない
- 3 初期消火ができない
- 4 自力で避難できない
- 5 知らない人と一緒に過ごすことに不安があり、避難所で生活することができない
- 6 避難所の段差や階段などのバリア
- 7 避難所での支援者がいるかどうかわからない
- 8 避難所での、障害のために必要となる特別なスペースの確保
- 9 避難所等におけるトイレの利用
- 10 医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保
- 11 自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保
- 12 その他（ ）
- 13 特になし
- 14 わからない

問41-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。

あてはまるものを1つ選び、○をつけてください。

- 1 登録している
- 2 登録していないが、今後登録したい
- 3 登録していないが、今後も登録したくない
- 4 災害時要援護者名簿について知らない

災害時要援護者名簿

災害時に自力で避難することが困難な方（災害時要援護者）を発生時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

問41-② 問41-①で「3 登録したくない」と答えた方にお聞きします。その理由は何で

すか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 個人情報こじんじょうほうを区くに提出ていしゅつすることに抵抗ていこうがあるから
- 2 手続きてつづする時間じかんがないから
- 3 災害時さいがいじ要援護者ようえんごしや名簿めいぼが地域ちいきの団体だんたいに配付はいふされてしまうから
- 4 よくわからないから
- 5 登録とうろくする具体的ぐたいてきなメリットがない（わからない）から
- 6 その他（ ）

問42 区くが実施じっししている障害者しょうがいしやに対するサービスなどの情報じょうほうは、あなたに届とどいていますか。情報源じょうほうげんとなっているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1 障害者福祉 <small>しょうがいしやふくし</small> のてびき | 7 障害者団体 <small>しょうがいしやだんたい</small> |
| 2 区 <small>く</small> の窓口 <small>まどぐち</small> | 8 家族・友人 <small>かぞく ゆうじん</small> |
| 3 区報 <small>くほう</small> | 9 施設 <small>しせつ</small> の支援員 <small>しえんいん</small> |
| 4 区 <small>く</small> のホームページ、ツイッター | 10 テレビ・新聞 <small>しんぶん</small> |
| 5 民生委員 <small>みんせいいん</small> ・児童委員 <small>じどういん</small> | 11 その他（ ） |
| 6 身体障害者相談員 <small>しんたいしょうがいしやそうだんいん</small> ・知的障害者相談員 <small>ちてきしょうがいしやそうだんいん</small> | 12 情報 <small>じょうほう</small> が届 <small>とど</small> いていない |

問43 あなたが必要な情報ひつよう じょうほうを得えたいときに、困こまることはありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 パソコン等とうの使い方がわからずインターネットの情報じょうほうを得えられない。
- 2 広報等こうほうとうの内容ないようを理解りかいするのが難むずかしい
- 3 情報じょうほうを集めるための介助者かいじょしやが近くちかにいない
- 4 点字てんじ、SPコード、手話通訳しゅわつうやくなどの情報支援体制じょうほうしえんたいせいが十分じゅうぶんでない
- 5 どのように情報じょうほうを得えたらよいかえがわからない
- 6 その他（ ）
- 7 特とくに困こまることはない

12. 生活のしづらさについて

問44 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。

障害者が生活する中で不便と感じていることについて、以下の4つのバリア(=“不便なこと・困ること”)に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。

4つのバリア (4つのうちいずれか1つに○をつけてください)	不便と感じること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビやわかりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア(心の壁)

問45 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。

あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- 1 乗物や施設がバリアフリー化されていない
- 2 歩道の幅が狭く、安全に通れない
- 3 障害を理由とした資格取得の制限や大学入学等での制限があった(ある)
- 4 テレビ等での字幕放送が少なく内容がわからない
- 5 視覚に頼って読む・操作するものが多い(デジタル表示やタッチパネルなど)
- 6 困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある
- 7 外出時に周囲の視線が気になる
- 8 障害への理解不足等により、学校や職場で自分が傷つく言動にあった
- 9 店やレストランでの入店拒否
- 10 周りの人(介助者、施設の職員、職場の人等)から痛い思い・辛い思いをさせられた
- 11 その他()

問46 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。

あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 研修・講演会等の開催 | 6 学校での福祉教育の推進 |
| 2 パンフレット等での周知啓発 | 7 職場での障害理解の促進 |
| 3 障害者と地域との交流の機会の増加 | 8 障害者の社会活動の推進 |
| 4 子どものころからの障害者（児）との交流 | 9 その他（ ） |
| 5 障害児が地域の学校などに通うこと | |

13. 要望事項

問47 今後力を入れて欲しい施策や要望をお答えください。

あてはまるもの5つまで選び、○をつけてください。

- 相談支援事業の充実
- 障害福祉サービス等の充実
- 通所施設の整備
- グループホームの誘致
- 就労支援や職業訓練の充実
- 機能訓練回復事業の充実
- 緊急一時保護事業
- 障害者のための住宅施策の充実
- 医療費の軽減・医療制度の充実
- 道路・交通機関・公共機関の整備（バリアフリー）
- よりわかりやすい情報の提供
- 障害者が参加できる講座等の充実
- 障害及び障害者についての理解促進
- 障害者と地域の人との交流の促進
- スポーツ・レクリエーション活動・文化活動の充実
- ボランティアの育成・支援
- 障害者に配慮した防犯・防災対策の推進
- その他（ ）

さいご ほんにん かぞく かた
最後にご本人・ご家族の方にかがいます

じゆういけん
【自由意見】

問48 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見
などがありましたら、自由にお書きください。

しつもん いじょう きょうりやく
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

きにゅう ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう い きって は
記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

へいせい ねん がつ にち げつ
平成25年10月21日(月)までに、ポストに投函してください。

文京区障害者(児)実態・意向調査調査票

精神障害

1. 本人について

問1 この調査に回答されているのはどなたですか。(1つに○)

- 1 ご本人が回答し、自分で記入
- 2 ご本人が回答し、家族の方などが代筆
- 3 家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答
- 4 その他 ()

【これ以降の問は、あて名のご本人についてお答えください】

問2 あなたの性別に○をつけ、年齢を記入してください。

〔性別〕 1 男 2 女
〔年齢〕 _____ 歳 (平成25年10月1日現在)

問3 あなたのお持ちの手帳に○をつけ、その障害の程度を記入してください。申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳 _____ 級【申請中】
- 2 愛の手帳(東京都療育手帳) _____ 度【申請中】
- 3 精神障害者保健福祉手帳 _____ 級
- 4 難病の医療券【申請中】

問4 あなたの障害の部位、症状について、次のうちからお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 統合失調症
- 2 気分(感情)障害(うつ病・躁うつ病等)
- 3 不安障害、強迫性障害、適応障害
- 4 てんかん
- 5 依存症(アルコール、薬物等)
- 6 発達障害
- 7 その他 ()

問5 あなたは現在どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者
- 2 子ども
- 3 孫
- 4 父母
- 5 配偶者の父母
- 6 兄弟姉妹
- 7 祖父母
- 8 その他 ()
- 9 同居家族はいない

2. 通院や入院について

問6 あなたが、初めて精神疾患で医療機関を受診したのは何歳ごろですか。

() 歳ごろ

問7-① あなたは、現在、精神疾患で通院していますか。(1つに○)

- 1 通院している ⇒ 問7-②にお進みください。
- 2 通院していない ⇒ 問7-③にお進みください。

問7-② 問7-①で「1 通院している」と答えた方にお聞きします。どのくらいの頻度で受診していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 週に1回くらい | 4 年に数回くらい |
| 2 月に2回くらい | 5 不定期に受診している |
| 3 月に1回くらい | 6 その他 () |

問7-③ 問7-①で「2 通院していない」と答えた方にお聞きします。受診していないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 病状が良くなっているから | 5 一人では行けないから |
| 2 受診したい医療機関がないから | 6 医療費がかかるから |
| 3 受診しても病状が良くならないから | 7 その他 () |
| 4 受診したことがないから | |

問8-① 全員の方にうかがいます。精神疾患で今までに入院したことはありますか。(1つに○)

- 1 入院したことはない ⇒ 問9にお進みください
- 2 入院したことがある ⇒ 問8-②③にお進みください

問8-② 問8-①で「2 入院したことがある」と答えた方にお聞きます。この1年以内に精神疾患で入院したことはありますか。(1つに○)

- 1 ある
- 2 ない

問8-③ 問8-①で「2 入院したことがある」と答えた方にお聞きます。これまでに何回くらい入院しましたか。また、これまでの入院期間を合計するとどのくらいですか。

() 回

() 年 () か月

問9 全員の方にうかがいます。精神疾患の医療について困っていることはありますか。(特にあてはまるものを3つまで○。() 内は具体的にお書きください)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1 服薬のことで困っている (具体的に) | |
| 2 医療機関が遠く、受診にくい | 5 医療費が高い |
| 3 病状が良くならない | 6 相談相手がいない |
| 4 医療機関の緊急時の対応について不安がある | 7 特にない |
| | 8 その他 () |

3. 住居について

問 10 あなたのお住まいについて、あてはまるものを次のうちからお選びください。

(1つに○)

- | | |
|---------------------|---|
| 1 持ち家（一戸建て） | 6 グループホーム等（数人で共同生活を
する住居） |
| 2 持ち家（集合住宅）福祉ホーム | 7 入所施設などの福祉施設 |
| 3 民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅） | 8 その他（ ） |
| 4 社宅・公務員住宅 | |
| 5 都営・公社・公団などの公営賃貸住宅 | |

問 11 あなたは現在のお住まいで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|---|
| 1 住宅が老朽化している | 6 隣近所との関係が良くない |
| 2 部屋の間取り等の理由で住みにくい | 7 その他（ ） |
| 3 エレベーターがない | 8 特に困っていることはない |
| 4 家賃が高い | |
| 5 トイレや浴室等が使いづらい、またはない | |

4. 収入・年金について

問 12 あなたの世帯はどのような収入をもとに暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

単身の方は、あなた自身の収入についてのみ、回答してください。

あなた自身の収入	あなたを含めた家族全体の収入
1 自分で働いて得た収入	1 働いて得た収入
2 自分の年金・手当	2 年金・手当や恩給
3 自分の預貯金の利子や株の配当	3 預貯金の利子や株の配当
4 自分の不動産等の財産収入	4 不動産等の財産収入
5 自分の預貯金を下ろす	5 預貯金を下ろす
6 家族からの援助（仕送り）	6 親族からの援助（仕送り）
7 家族以外からの援助	7 生活保護
8 生活保護	8 その他
9 その他	
10 収入はない	

【以下問 16、17 は、問 15-①で「1～5」と答えた方にお聞きします。「6 働いていない」に○をつけた方は問 18 へお進みください】

問 16 あなたの 1 か月あたりの給与（賃金・工賃）はおよそいくらですか。（1 つに○）

あなた自身の 1 か月あたりの給与(賃金・工賃)	
1 ～ 1 万円未満	6 15 万円～20 万円未満
2 1 万円～ 2 万円未満	7 20 万円～30 万円未満
3 2 万円～ 5 万円未満	8 30 万円以上
4 5 万円～10 万円未満	9 わからない
5 10 万円～15 万円未満	

問 17 あなたが現在働いている職場や仕事・作業に不安や不満はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 収入が少ない | 8 精神的な負担が大きい |
| 2 作業内容が難しい | 9 雇用形態が不安定 |
| 3 休みがとりにくい | 10 障害者用の設備が整っていない |
| 4 就業時間を軽減する制度がない | 11 昇給や昇進が不平等である |
| 5 作業ペースが他の人と合わない | 12 通勤の負担が大きい |
| 6 職場の人間関係がうまくいかない | 13 その他() |
| 7 体力的な負担が大きい | 14 特にない |

問 18 **全員の方にお聞きします。**障害者が働くためには、どのような支援や環境が整っていることが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 就労に結びつく技術や知識の習得
- 2 働くうえでの決まりごとの習得
- 3 就職活動に必要な情報の提供
- 4 障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること
- 5 職場の施設面での整備
- 6 ジョブコーチ等職場で就労を支援する援助者
- 7 職場の上司や同僚の理解と協力
- 8 就労継続のための企業からのカウンセリングや支援
- 9 通勤手段等についての企業側の配慮
- 10 健康状態に合わせた、企業側の柔軟な対応や配慮
- 11 その他()
- 12 特にない
- 13 わからない

6. 日々の生活について

問 19 日中は主にどこで過ごしていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 一般企業等で就労している(自営業も含む) | 5 自宅にすることが多い |
| 2 学校に通っている | 6 趣味・習い事・散歩などの |
| 3 障害者施設等で過ごしている | 余暇活動の場で過ごすことが多い |
| 4 入院している | 7 その他() |

問 20 あなたが生活する上で、手助けが必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1 外出や買い物の同行 | 8 入浴介助 |
| 2 散歩など余暇活動での同行 | 9 金銭管理 |
| 3 通院の同行 | 10 服薬管理 |
| 4 家事(食事の支度、掃除、洗濯等)援助 | 11 情報の入手等(手話、朗読、代筆、要約筆記等含む) |
| 5 食事介助 | 12 その他() |
| 6 排泄介助 | 13 介助を必要とすることは特にな |
| 7 衣服の着脱介助 | |

問 21 現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 自分自身の病気や障害が悪化すること | 7 介助者がいなくなること |
| 2 将来の生活のこと | 8 障害者に対する周囲の理解不足 |
| 3 仕事がなくなること | 9 周囲の人との関係について |
| 4 収入や生計、財産の管理のこと | 10 不安や心配に感じることは特にな |
| 5 親の介護のこと | 11 緊急時における避難等の対応 |
| 6 子どもの養育のこと | 12 その他() |

問 22 日中活動として、あなたは、今後どのような過ごし方、通所先、就学先等を希望していますか。(1つに○)

- 1 一般企業などで仕事をする、または仕事を継続する
- 2 アルバイトする
- 3 職業訓練を受ける
- 4 施設(就労支援事業所、デイケア、地域活動支援センターなど)に通所する
- 5 専門学校へ通う
- 6 短大・大学へ通う
- 7 どこにも行かないで自宅で過ごす
- 8 その他()

問 23 余暇活動についてお聞きします。今後余暇活動で参加したいと思うものはありますか（あてはまるものすべてに○）

* スポーツを選んだ方は（ ）内にスポーツの種目もお書きください。

* 区等が主催しているイベントを選んだ方は（ ）内の種類にも○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1 演劇、コンサート等の鑑賞 | 7 その他（ |
| 2 教養・学習活動 | 8 特にな |
| 3 スポーツ（具体的に | ） |
| 4 ボランティア | |
| 5 音楽・ダンス等の参加型イベント | |
| 6 区等が主催しているイベント（ふれあいの集い、合同運動会、心身障害者（児）レクリエーション、ステージ・エコ、5大花まつり等） | |

7. 外出・地域環境・交通などについて

問 24 日頃あなたはどれくらい外出（通勤、通学、通所、通院等を含む）しますか。（1つに○）

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 月に1～2回程度 |
| 2 週に3～5日程度 | 5 まったく、またはほとんど外出しない |
| 3 週に1～2日程度 | |

問 25 外出の目的にはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 買い物 | 6 ボランティアや地域行事への参加 |
| 2 通院 | 7 友人と会うため |
| 3 通勤や通学 | 8 散歩 |
| 4 作業所などの福祉施設への通所 | 9 特にな |
| 5 趣味・スポーツなどへの参加 | |

問 26 外出の際に困ることは何ですか。（特にあてはまるものを3つまで○）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 電車、バス、タクシー等の乗換えが複雑で難しい | |
| 2 目的地への行き方わからない | 6 同伴者がいない |
| 3 切符の買い方がわからない | 7 外出することで病状が悪化する |
| 4 標識・表示の案内がわかりにくい | 8 その他（ |
| 5 人が多くて疲れる | ） |

8. 相談について

問 27 あなたが困ったときや悩んだ時の相談先について、次のうちからお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 家族・親族 | 10 施設の支援員 |
| 2 友人・知人 | 11 家族会 |
| 3 勤務先の人 | 12 精神保健センター等の
都や区の相談機関 |
| 4 区の窓口（福祉・介護・保健所等） | 13 東京都発達障害者支援センター
(TOSCA) |
| 5 民生委員・児童委員 | 14 社会福祉協議会 |
| 6 ホームヘルパー | 15 その他（ ） |
| 7 地域活動支援センター支援員 | 16 誰に相談すれば良いかわからない |
| 8 病院・診療所の主治医 | 17 相談する必要を感じない |
| 9 病院・診療所の相談員・
ケースワーカー | |

問 28 あなたは、どのようなことについて相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--|
| 1 病気や障害の状態について | 9 親の介護について |
| 2 仕事や職場のことについて | 10 子どもの養育について |
| 3 日々の生活の中での出来事について | 11 恋愛・結婚について |
| 4 通院する病院や診療所について | 12 服薬のことについて |
| 5 地域や趣味の活動について | 13 精神疾患以外の病気について |
| 6 施設での出来事について | 14 その他（ ） |
| 7 お金の使い方や管理について | 15 特にない |
| 8 学校のことについて | |

9. 障害福祉サービス等の利用について

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく、障害福祉サービス等のご利用状況について伺います。

*** 障害福祉サービス等には大きく分けて訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、地域生活支援事業があります。**

訪問系サービス等	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、短期入所(ショートステイ)
日中活動系サービス	生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、児童発達支援、療養介護
居住系サービス	グループホーム、ケアホーム、施設入所支援等
地域生活支援事業	相談支援、移動支援、地域活動支援センター

- ★現在障害福祉サービス等を利用されている方は**[A]**の設問にお答えください。
- ★障害福祉サービス等を利用していない方は**[B]**（問 31）へ進み、設問にお答えください。

[A] 障害福祉サービス等を利用している方へ

問 29 現在利用されている障害福祉サービス等の量についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの量は足りていますか			
	1 足りている	2 ほぼ足りている	3 足りない	4 利用していない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3	4
短期入所(ショートステイ)	1	2	3	4
移動支援事業	1	2	3	4

問 30 利用されているサービスの内容についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの内容に満足していますか					
	1 満足している	2 ほぼ満足している	3 やや不満足	4 不満足	5 どちらともいえない	6 使っていない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3	4	5	6
就労移行 就労継続支援	1	2	3	4	5	6
短期入所 (ショートステイ)	1	2	3	4	5	6
生活介護・児童発達支援等 通所施設	1	2	3	4	5	6
施設入所支援	1	2	3	4	5	6
グループホーム ケアホーム	1	2	3	4	5	6
相談支援事業	1	2	3	4	5	6
移動支援事業	1	2	3	4	5	6
地域活動支援センター	1	2	3	4	5	6

⇒問 32 へお進みください

[B]障害福祉サービス等を利用していない方へ

問 31 障害福祉サービス等があることを知っていますか。(1つに○)

- 1 サービスの内容を知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない
- 3 知らない

問 32 **全員の方にお聞きします。**今後、利用を希望するサービスはありますか。あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	今後サービスを利用したいですか		
	1 利用したい	2 利用したいと思わない	3 分からない
居宅介護 (重度訪問介護、行動援護含む)	1	2	3
就労移行 就労継続支援	1	2	3
短期入所 (ショートステイ)	1	2	3
通所施設	1	2	3
施設入所支援	1	2	3
グループホーム ケアホーム	1	2	3
相談支援事業	1	2	3
移動支援事業	1	2	3
地域活動支援センター	1	2	3

10. 災害対策・情報提供について

問 33 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害の情報を得ることができなかった
- 2 自力で避難することができなかった
- 3 家族やヘルパー等の介助者と連絡を取ることができなかった
- 4 利用している施設等の利用時間が短縮された
- 5 物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった
- 6 エレベーターや電車等の乗物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった
- 7 特にない
- 8 その他 ()

問 34 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害の情報を得ることが出来ない
- 2 災害の発生などを消防署や周囲の人へ連絡できない
- 3 初期消火ができない
- 4 自力で避難できない
- 5 知らない人と一緒に過ごすことに不安があり、避難所で生活することができない
- 6 避難所での支援者がいるかどうかわからない
- 7 服薬が出来なくなる等、医療の確保
- 8 自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保
- 9 その他 ()
- 10 特になし
- 11 わからない

問 35-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。

(1つに○)

- 1 登録している
- 2 登録していないが、今後登録したい
- 3 登録していないが、今後も登録したくない
- 4 災害時要援護者名簿について知らない

災害時要援護者名簿

災害時に自力で避難することが困難な方(災害時要援護者)を発災時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

問 35-② 問 35-①で「3 登録したくない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 個人情報や区に提出することに抵抗があるから
- 2 手続きする時間がないから
- 3 災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから
- 4 よくわからないから
- 5 登録する具体的なメリットがない(わからない)から
- 6 その他 ()

問 36 区が実施している障害者に対するサービスなどの情報は、あなたに届いていますか。
情報源となっているものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 障害者福祉のてびき | 7 家族・友人 |
| 2 区の窓口 | 8 施設の支援員 |
| 3 区報 | 9 テレビ・新聞 |
| 4 区のホームページ、ツイッター | 10 その他 () |
| 5 民生委員・児童委員 | 11 情報が届いていない |
| 6 障害者団体 | |

問 37 あなたが必要な情報を得たいときに、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 パソコン等の使い方が分からずインターネットの情報を得られない
- 2 情報の内容を理解することが難しい
- 3 情報を集めるための介助者が近くにいない
- 4 どのように情報を得たらよいか分からない
- 5 その他 ()
- 6 特に困ることはない

1 1. 生活のしづらさについて

問 38 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。

障害者が生活する中で不便と感じていることについて、以下の4つのバリア(=“不便なこと・困ること”)に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つ番号を選び、○をつけてください。

4つのバリア (4つのうちいずれか1つに○をつけてください)	不便と感ずること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビや分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア (心の壁)

問 39 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 乗物や施設がバリアフリー化されていない
- 2 歩道の幅が狭く、安全に通れない
- 3 障害を理由とした資格取得の制限や大学入学等での制限があった (ある)
- 4 テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない
- 5 視覚に頼って読む・操作するものが多い (デジタル表示やタッチパネルなど)
- 6 困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある
- 7 外出時に周囲の視線が気になる
- 8 障害への理解不足等により、学校や職場で自分が傷つく言動にあった
- 9 店やレストランでの入店拒否
- 10 周りの人 (介助者、施設の職員、職場の人等) から痛い思い・辛い思いをさせられた
- 11 その他 ()

問 40 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに

○)

- 1 研修・講演会等の開催
- 2 パンフレット等での周知啓発
- 3 障害者と地域との交流の機会の増加
- 4 子どものころからの障害者 (児) との交流
- 5 障害児が地域の学校などに通うこと
- 6 学校での福祉教育の推進
- 7 職場での障害理解の促進
- 8 障害者の社会活動の推進
- 9 その他 ()

13. 要望事項

問 41 今後力を入れて欲しい施策や要望をお答えください。(特にあてはまるものを5つまで○)

- 1 相談支援事業の充実
- 2 障害福祉サービス等の充実
- 3 通所施設の整備
- 4 グループホームの誘致
- 5 就労支援や職業訓練の充実
- 6 機能訓練回復事業の充実
- 7 緊急一時保護事業
- 8 障害者のための住宅施策の充実 (住宅を確保しやすくして欲しい等)
- 9 医療費の軽減・医療制度の充実 (医療を受けやすくして欲しい等)
- 10 道路・交通機関・公共機関の整備 (バリアフリー)
- 11 より分かりやすい情報の提供
- 12 障害者が参加できる講座等の充実
- 13 障害及び障害者についての理解促進
- 14 障害者と地域の人との交流の促進
- 15 スポーツ・レクリエーション活動・文化活動の充実
- 16 ボランティアの育成・支援
- 17 障害者に配慮した防犯・防災対策の推進
- 18 その他 ()

14. 介助の状況について

※以下介助とは、障害者への介助、支援、見守りなどを含みます。

問 42 あなたは介助を必要としていますか。(1つに○)

- 1 常時必要 2 部分的に必要 3 必要ない

【ここから問 44 までの設問は、介助をしている家族・親族の方に伺います】

問 43 主に介助をしている方の性別と年齢を記入してください。

[性別] 1 男 2 女

[年齢] _____ 歳 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

問 44 主に介助をしている方がお困りのことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1 病気や冠婚葬祭等の用事があるとき、代わりに世話をする人を探すこと | |
| 2 休む時間がない・休養がとれない | 7 服薬管理ができない |
| 3 仕事との両立が難しい | 8 経済的に負担が大きい |
| 4 買い物・外出が気軽にできない | 9 その他 |
| 5 かかわり方がわからない | (具体的に) |
| 6 病気の理解ができない | 10 特に困っていない |

【ここまでで介助をされている方への質問を終わります】

最後に本人・ご家族の方にかがいます

【自由意見】

問 45 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

平成 25 年 10 月 21 日(月)までに、ポストに投函してください。

文京区障害者(児)実態・意向調査調査票

難病・身体障害

※ 平成 25 年度 4 月施行の「障害者総合支援法」において、障害者の定義に難病患者が追加されました。よって本調査票における“障害者”という記述についても、対象に難病患者を含んでいます。

※ 本調査票は平成 25 年 8 月 1 日現在、難病の医療券をお持ちの方（身体障害者との重複者を含む）に配付しています。

1. ご本人について

問 1 この調査に回答されているのはどなたですか。（1つに○）

- 1 ご本人が回答し、自分で記入
- 2 ご本人が回答し、家族の方などが代筆
- 3 家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答
- 4 その他（ ）

【これ以降の問は、あて名のご本人についてお答えください】

問 2 あなたの性別に○をつけ、年齢を記入してください。

〔性別〕 1 男 2 女
〔年齢〕 _____ 歳（平成 25 年 10 月 1 日現在）

問 3 現在り患している疾病名を記入してください。

問 4 難病の医療券のほかに、あなたは障害者手帳をお持ちですか。お持ちの方は手帳の種類に○をつけ、その障害の程度を記入してください。申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳 _____ 級【申請中】
- 2 愛の手帳（東京都療育手帳） _____ 度【申請中】
- 3 精神障害者保健福祉手帳 _____ 級【申請中】

問 5 あなたは介護認定を受けていますか。受けている方は介護度をお書きください。

要支援（ ）度 要介護（ ）度

問6 あなたの障害について、次のうちからお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1 視覚障害 | 7 呼吸器機能障害 |
| 2 聴覚・平衡機能障害 | 8 直腸・膀胱機能障害 |
| 3 音声・言語・そしゃく機能障害 | 9 小腸機能障害 |
| 4 肢体不自由(上肢・下肢・
体幹・運動機能障害) | 10 免疫機能 |
| 5 心臓機能障害 | 11 肝臓機能障害 |
| 6 腎臓機能障害 | 12 その他() |

問7 あなたは、現在どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------|----------|------------|
| 1 配偶者 | 4 父母 | 7 祖父母 |
| 2 子ども | 5 配偶者の父母 | 8 その他() |
| 3 孫 | 6 兄弟姉妹 | 9 同居家族はいない |

問8 あなたは、意思の伝達をする場合、特別な技術や用具を使っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 使っていない | 5 文字盤・トーキングエイド |
| 2 口話・手話 | 6 点字 |
| 3 補聴器や人口内耳等の補聴機器 | 7 その他() |
| 4 筆談・要約筆記 | |

2. 受診(通院・入院)状況について

問9-① あなたは、現在、難病で受診していますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 主に入院している | ⇒ <u>問10-②にお進みください。</u> |
| 2 主に通院している | ⇒ <u>問9-②、10-①にお進みください。</u> |
| 3 主に往診してもらっている | ⇒ <u>問9-②、10-①にお進みください。</u> |
| 4 受診していない | ⇒ <u>問10-①にお進みください。</u> |

問9-② 問9-①で「2」「3」に○をつけた方にお聞きします。どのくらいの頻度で受診していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 週に1回くらい | 4 年に数回くらい |
| 2 月に2回くらい | 5 不定期に受診している |
| 3 月に1回くらい | 6 その他() |

問10-① 問9-①で「2」「3」「4」に○をつけた方にお聞きします。今までに難病を理由に入院したことはありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 入院したことはない | ⇒ <u>問11にお進みください</u> |
| 2 この1年以内に入院したことがある | ⇒ <u>問10-②にお進みください</u> |
| 3 1年以上前に入院していた | ⇒ <u>問10-②にお進みください</u> |

問 10-② 問 9-①で「1」に、または 10-①で「2」「3」に○をつけた方にお聞きします。

これまでに難病を理由に何回くらい入院しましたか。また、これまでの入院期間を合計するとどのくらいですか。

() 回

() 年 () か月

問 11 全員の方に伺います。難病の医療について困っていることはありますか。

(特にあてはまるものを3つまで○。()内は具体的にお書きください)

- 1 専門的な治療を受けるための医療機関が遠く、受診しにくい
- 2 医療機関の緊急時の対応について不安がある
- 3 通院するための交通費が高い
- 4 通院すること自体が困難
- 5 病状が良くなるしない
- 6 医療費が高い
- 7 相談相手がいない
- 8 服薬のことで困っている (具体的に)
- 9 その他 ()
- 10 特にない

3. 住居について

問 12 あなたのお住まいについて、あてはまるものを次のうちからお選びください。

(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 持ち家 (一戸建て) | 6 グループホーム・ケアホーム・福祉 |
| 2 持ち家 (集合住宅) | ホーム等 (数人で共同生活をする住居) |
| 3 民間賃貸住宅 (一戸建て・集合住宅) | 7 障害者や高齢者の入所施設 |
| 4 社宅・公務員住宅 | 8 その他 () |
| 5 都営・公社・公団などの公営賃貸住宅 | |

問 13 あなたは現在のお住まいで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1 手すりがない | 8 住宅が老朽化している |
| 2 トイレや浴室等が使いづらい、またはない | 9 家賃が高い |
| 3 階段が急である | 10 隣近所との関係が良くない |
| 4 段差がある | 11 その他 () |
| 5 廊下が狭くて車いす等が使えない | 12 特に困っていることはない |
| 6 エレベーターがない | |
| 7 部屋の間取りなどの理由により、ベッドが使えない | |

問 14 現在のお住まいを改善する際に、課題となることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 家主や他の住民から同意が得られない | 5 どこに相談すればいいかわからない |
| 2 家族の同意が得られない | 6 その他 () |
| 3 費用の都合がつかない | 7 困っていることはない |
| 4 増改築などが構造的に無理である | |

4. 収入・年金について

問 15 あなたの世帯はどのような収入をもとに暮らしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

単身の方は、あなた自身の収入についてのみ、回答してください。

あなた自身の収入	あなたを含めた家族全体の収入
1 自分で働いて得た収入	1 働いて得た収入
2 自分の年金・手当	2 年金・手当や恩給
3 自分の預貯金の利子や株の配当	3 預貯金の利子や株の配当
4 自分の不動産等の財産収入	4 不動産等の財産収入
5 自分の預貯金を下ろす	5 預貯金を下ろす
6 家族からの援助 (仕送り)	6 親族からの援助 (仕送り)
7 家族以外からの援助	7 生活保護
8 生活保護	8 その他
9 その他	
10 収入はない	

問 16 年金・手当・仕送りなどをすべて合わせて、あなたの世帯の1か月の収入はおよそいくらですか。(1つに○)

あなたの世帯の1か月あたりの収入	
1 ~10万円未満	6 40万円~50万円未満
2 10万円~15万円未満	7 50万円~75万円未満
3 15万円~20万円未満	8 75万円~100万円未満
4 20万円~30万円未満	9 100万円以上
5 30万円~40万円未満	10 わからない

問 17-① あなたは障害基礎年金や障害厚生年金を受給していますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 受給している | 2 受給していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問 17-② 問 17-①で「2 受給していない」と答えた方にお聞きします。障害基礎年金等を受給していない理由についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 制度を知らない | 4 経済的には困っていない |
| 2 受給資格がない | 5 その他 () |
| 3 手続きの方法がわからない | |

5. 就労の状況について

問 18-① あなたは、現在仕事をしていますか。(1つに○)

- 1 会社・団体等の正規雇用で仕事をしている
- 2 パート、アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている
- 3 自営業など自宅等で収入のある仕事をしている
- 4 福祉作業所等の福祉施設で働いている
- 5 その他 ()
- 6 働いていない

問 18-② 問 18-①で「3～6」と答えた方にお聞きします。あなたは一般企業（非正規雇用を含む）への就職を希望しますか。(1つに○)

- 1 希望する
- 2 希望しない
- 3 わからない

【以下問 19、20 は、問 18-①で「1～5」と答えた方にお聞きします。「6 働いていない」に○をつけた方は問 21 へお進みください】

問 19 あなたの1か月あたりの給与（賃金・工賃）はおよそいくらですか。(1つに○)

あなた自身の1か月あたりの給与(賃金・工賃)	
1 ~ 1万円未満	6 15万円～20万円未満
2 1万円～2万円未満	7 20万円～30万円未満
3 2万円～5万円未満	8 30万円以上
4 5万円～10万円未満	9 わからない
5 10万円～15万円未満	

問 20 あなたが現在働いている職場や仕事・作業に不安や不満はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 収入が少ない
- 2 作業内容が難しい
- 3 休みがとりにくい
- 4 就業時間を軽減する制度がない
- 5 作業ペースが他の人と合わない
- 6 職場の人間関係がうまくいかない
- 7 体力的な負担が大きい
- 8 精神的な負担が大きい
- 9 雇用形態が不安定
- 10 障害者用の設備が整っていない
- 11 昇給や昇進が不平等である
- 12 通勤の負担が大きい
- 13 その他()
- 14 特にない

問 21 **全員の方にお聞きします。**障害者が働くためには、どのような支援や環境が整っていることが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること
- 2 職場の施設面での整備
- 3 ジョブコーチ等職場で就労を支援する援助者
- 4 職場の上司や同僚の理解と協力
- 5 健康状態に合わせた、企業側の柔軟な対応や配慮
- 6 通勤手段等についての企業側の配慮
- 7 就職活動に必要な情報の提供
- 8 就労継続のための企業からのカウンセリングや支援
- 9 就労に結びつく技術や知識の習得
- 10 その他 ()
- 11 特にない
- 12 わからない

6. 介助の状況について

※以下介助とは、障害者への看護、支援、見守りなどを含みます。

問 22-① あなたは介助を必要としていますか。(1つに○)

- 1 常時必要
- 2 部分的(一時的)に必要
- 3 必要ない

問 22-② **問 22-①で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。**あなたを日頃主に介助している方はどなたですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 配偶者 | 7 訪問看護師 |
| 2 父母(配偶者の親を含む) | 8 ホームヘルパー |
| 3 子(子の配偶者を含む) | 9 施設職員 |
| 4 兄弟姉妹 | 10 ボランティア |
| 5 その他の親族 | 11 その他() |
| 6 病院の看護師 | 12 介助してくれる人がいない |

【ここから問 26 までは介助をしている家族・親族の方にうかがいます】

問 23 主に介助をしている方の性別と年齢を記入してください。

[性別] 1 男 2 女

[年齢] _____ 歳(平成 25 年 10 月 1 日現在)

問 24 主に介助をしている方がお困りのことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 食事の介助 | 8 休む時間がない・休養がとれない |
| 2 トイレの介助 | 9 買い物・外出が気軽にできない |
| 3 入浴の介助 | 10 介助の方法がわからない |
| 4 病気の看護 | 11 難病に関する知識・情報が少ない |
| 5 仕事との両立が難しい | 12 その他(具体的に) |
| 6 家事・育児への影響 | 13 特に困っていない |
| 7 近所・友人づきあいに影響 | |

問 25 主に介助している方が病気、休養、冠婚葬祭等で一時的に介助ができないときはどうしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 同居の家族に頼む
- 2 同居していない家族・親族に頼む
- 3 近所の知人・友人に頼む
- 4 ホームヘルパーを頼む
- 5 その他の公的サービスを利用する(具体的に)
- 6 何もあてがなく困っている

問 26 介助をする上で、主に介助している方の負担の感じ方はどのくらいですか。次にあげるア～ウについて、それぞれあてはまるものを1～4のなかから選んでください。(それぞれ1つに○をつけてください)

	1 とても高い	2 高い	3 低い	4 ない (感じない)
ア 身体的負担	1	2	3	4
イ 精神的負担	1	2	3	4
ウ 経済的負担	1	2	3	4

【ここまでで介助をされている方への質問を終わります】

7. 日々の生活について

問 27 日中は主にどこで過ごしていますか。(1つに○)

- 1 一般企業等で就労している(自営業も含む)
- 2 障害者や高齢者の施設等で過ごしている
- 3 入院している
- 4 学校等に通っている
- 5 自宅にすることが多い
- 6 趣味・習い事・散歩などの余暇活動の場で過ごすことが多い
- 7 その他()

問 28 あなたが生活する上で、手助けが必要なことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1 外出や買い物の同行 | 8 入浴介助 |
| 2 散歩など余暇活動での同行 | 9 金銭管理 |
| 3 通院の同行 | 10 服薬管理 |
| 4 家事（食事の支度、掃除、洗濯等）援助 | 11 情報の入手等（手話、朗読、代筆、要約筆記等含む） |
| 5 食事介助 | 12 その他（ ） |
| 6 排泄介助 | 13 介助を必要とすることは特にな |
| 7 衣服の着脱介助 | |

問 29 現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 自分自身の病気や障害が悪化すること | 7 介助者がいなくなること |
| 2 将来の生活のこと | 8 障害者（難病患者）に対する周囲の理解不足 |
| 3 仕事なくなること・仕事ができなくなること | 9 緊急時における避難等の対応 |
| 4 収入や生計、財産の管理のこと | 10 周囲の人との関係について |
| 5 親の介護のこと | 11 不安や心配に感じることは特にな |
| 6 子どもの養育のこと | 12 その他（ ） |

問 30 日中活動として、あなたは、今後どのような過ごし方、通所先、就学先等を希望していますか。(1つに○)

- 1 自宅で過ごす
- 2 福祉作業所等に通所する
- 3 生活介護等を行う障害者施設に通所する
- 4 介護療養型医療施設等に入所する
- 5 障害者施設に入所する
- 6 就職する、または仕事を継続する
- 7 特別支援学級・特別支援学校に就学する
- 8 地域の小中学校・高校の通常の学級に就学する
- 9 その他（ ）

問 31 余暇活動についてお聞きします。今後余暇活動で参加したいと思うものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

* スポーツを選んだ方は（ ）内にスポーツの種目もお書きください。

* 区等が主催しているイベントを選んだ方は（ ）内の種類にも○をつけてください。

- | | |
|---|----------|
| 1 演劇、コンサート等の鑑賞 | 7 その他（ ） |
| 2 教養・学習活動 | 8 特にな |
| 3 スポーツ（具体的に |) |
| 4 ボランティア | |
| 5 音楽・ダンス等の参加型イベント | |
| 6 区等が主催しているイベント（ふれあいの集い、合同運動会、心身障害者（児）レクリエーション、ステージ・エコ、5大花まつり等） | |

8. 外出・地域環境・交通などについて

問 32 日頃あなたはどれくらい外出（通勤、通学、通院等を含む）しますか。（1つに○）

- | | |
|------------|---------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 月に1～2回程度 |
| 2 週に3～5日程度 | 5 まったく、またはほとんど外出しない |
| 3 週に1～2日程度 | |

問 33 外出の目的にはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 買い物 | 6 ボランティアや地域行事への参加 |
| 2 通院 | 7 友人と会うため |
| 3 通勤や通学 | 8 散歩 |
| 4 作業所などの福祉施設への通所 | 9 特になし |
| 5 趣味・スポーツなどへの参加 | |

問 34 外出の際に困ることは何ですか。（特にあてはまるものを3つまで○）

- 1 電車、バス、タクシー等の乗降
- 2 歩道、道路、出入口の段差
- 3 階段の昇り降り
- 4 手すりがない
- 5 路上の障害物（看板や放置自転車など）
- 6 障害者が使えるトイレが少ない
- 7 標識・標示の案内がわかりにくい
- 8 点字ブロック、盲人用信号がない
- 9 エレベーター等が未設置の場所があるため、スムーズに移動が出来ない
- 10 発作など突然の体調の変化が心配
- 11 見た目では病気が分かりにくいいため、つらさを察してもらえない
- 12 行動や発声のために奇異な目で見られる
- 13 外出時に必要なコミュニケーションが取りにくい
- 14 乗車券の購入・料金の支払いが困難
- 15 自転車の運転マナーが悪く、危険を感じる
- 16 同伴者がいない
- 17 その他（ ）

9. 相談について

問 35 あなたが困ったときや悩んだ時の相談先について、次のうちからお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 病院・診療所の主治医（看護師） | 12 学校等の先生 |
| 2 病院・診療所の相談員・
ケースワーカー | 13 障害者団体 |
| 3 家族・親族 | 14 障害者福祉センター等
都や区の相談機関 |
| 4 友人・知人 | 15 東京都難病相談・支援センター |
| 5 区の窓口（福祉・介護・保健所等） | 16 東京都発達障害者支援センター
(TOSCA) |
| 6 介護支援相談員（ケアマネジャー） | 17 社会福祉協議会 |
| 7 ホームヘルパー | 18 その他（
） |
| 8 民生委員・児童委員 | 19 誰に相談すれば良いかわからない |
| 9 身体障害者相談員 | 20 相談する必要を感じない |
| 10 施設の支援員 | |
| 11 スクールカウンセラー | |

問 36 あなたは、どのようなことについて相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 病気や障害の状態について | 8 学校のことについて |
| 2 仕事や職場のことについて | 9 親の介護について |
| 3 日々の生活の中での出来事について | 10 子どもの養育について |
| 4 通院する病院や診療所について | 11 恋愛・結婚について |
| 5 地域や趣味の活動について | 12 その他（
） |
| 6 施設での出来事について | 13 特になし |
| 7 お金の使い方や管理について | |

9. 障害福祉サービス等の利用について

* 障害福祉サービス等には大きく分けて訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、地域生活支援事業があります。

訪問系サービス等	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、 短期入所(ショートステイ)
日中活動系サービス	生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、児 童発達支援、療養介護
居住系サービス	グループホーム、ケアホーム、施設入所支援等
地域生活支援事業	相談支援、移動支援、コミュニケーション支援、 日常生活用具の給付等

問 37 障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく障害福祉サービス等の利用状況について伺います。次のうちからあてはまるものをお選びください。（1つに○）

- 1 障害福祉サービス等を利用している（今後利用する予定）
- 2 障害福祉サービス等を利用したいが利用対象外となり、利用できない
- 3 障害福祉サービス等を利用したいが制度内容がよくわからない
- 4 症状が安定しており、利用する必要がない
- 5 介護保険サービスを受けているため、利用する必要がない
- 6 障害福祉サービス等について知らない

- ★現在障害福祉サービス等を利用されている方は【A】の設問にお進みください。
（介護保険サービスではなく、障害福祉サービスについてのみお答えください）
- ★さらに、施設入所されている方は、【B】（問 40～問 43-④）についてもお進みください。
- ★障害福祉サービス等を利用していない方は【C】（問 44）へ進み、設問にお進みください。

【A】 障害福祉サービス等を利用している方へ

問 38 現在利用されている障害福祉サービス等の量についてお聞きします。
あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

	ご自分が利用しているサービスの量は足りていますか			
	1 足りている	2 ほぼ足りている	3 足りない	4 利用していない
居宅介護 （重度訪問介護、行動援護含む）	1	2	3	4
短期入所（ショートステイ）	1	2	3	4
移動支援事業	1	2	3	4
コミュニケーション支援事業 （手話通訳、要約筆記者の派遣等）	1	2	3	4

問 42 現在の施設に入所することになった理由について、あてはまるものを次のうちからお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 心身の状態が悪くなったため
- 2 介助者が高齢などの理由で、在宅での生活が困難になったため
- 3 部屋が狭く段差が多いなど、住まいに支障があるため
- 4 在宅で生活していくためのサービスが充分ではないため
- 5 年金などの収入では在宅で生活していけないため
- 6 専門的な訓練を受けたかったため
- 7 家族の病気、転勤などのため
- 8 家族が介助をしてくれない・家族から暴力などを受けるなど
- 9 その他（ ）
- 10 わからない

問 43-① 今後、どちらで生活したいですか。（1つに○）

- 1 施設で生活したい ⇒問 43-②にお進みください
- 2 施設を出て地域（文京区）で生活したい ⇒問 43-③、④にお進みください
- 3 その他（具体的に： ） ⇒問 45にお進みください
- 4 わからない ⇒問 45にお進みください

問 43-② 問 43-①で「1 施設で生活したい」に○をつけた方にお聞きします。施設で生活したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 入所者や職員との関係が良好なため
- 2 施設での生活に満足しているため
- 3 今の在宅サービス基盤では、自立した生活ができないため
- 4 周囲の理解が得られないため
- 5 家族の理解が得にくかったり、遠慮してしまうため
- 6 住環境が悪く、自宅などに戻っても生活ができないため
- 7 経済的に難しいため
- 8 施設を出た後で、支援してくれる人がいないため
- 9 健康面などで不安
- 10 その他（ ）
⇒問 45にお進みください

問 43-③ 問 43-①で「2 施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞きします。施設を退所した後、どちらで生活したいですか。（1つに○）

- 1 自宅に帰って家族と生活したい
- 2 アパートなどを借りて一人で生活したい
- 3 グループホームなどで少人数の共同生活をしたい
- 4 その他（ ）
- 5 わからない

問 43-④ **問 43-①で「2 施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞きします。**施設を退所した後、どのような生活を送りたいですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 家族やヘルパーから介助を受けて生活したい
- 2 働いて自立した生活をしたい
- 3 通所施設などに通いながら生活したい
- 4 就労や通所はしないで暮らしたい
- 5 その他（具体的に _____)
- 6 わからない ⇒問 45 にお進みください

[C] 障害福祉サービス等を利用していない方へ

問 44 障害福祉サービス等があることを知っていますか。（1つに○）

- 1 サービスの内容を知っている 3 知らない
- 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない ⇒問 45 にお進みください

問 45 **全員の方にお聞きします。**今後、利用、または利用継続を希望する障害福祉サービス等がありますか。あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

（*サービスの利用には一定の利用要件があります）

	今後サービスを利用したいですか		
	1 利用したい	2 利用したいと思わない	3 分からない
居宅介護 （重度訪問介護、行動援護含む）	1	2	3
就労移行 就労継続支援	1	2	3
短期入所 （ショートステイ）	1	2	3
生活介護・児童発達支援等 通所施設	1	2	3
入所施設	1	2	3
グループホーム ケアホーム	1	2	3
相談支援事業	1	2	3
移動支援事業	1	2	3
コミュニケーション支援事業 （手話通訳、要約筆記者の派遣等）	1	2	3
日常生活用具給付等事業	1	2	3

1 1. 区におけるサービスについて

問 46 現在区で行っている、障害のある方への日常生活の援助について、利用状況と利用の意向をお聞かせください。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

※ 難病の医療券のみをお持ちの方については、★印のものについてのみ、お答えください。

(* サービスの利用には一定の利用要件があります)

		A	B	C
		このサービスを知っていますか。	<u>Aで「はい」と答えた方にお聞きします。</u> このサービスを使っていますか。	<u>Bで「いいえ」と答えた方にお聞きします。</u> このサービスを使いたいですか。
文京区のサービス	短期保護事業 (動坂福祉会館・藤の木荘)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	緊急一時介護委託費の助成	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★紙おむつの支給	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	緊急通報・火災安全システム	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★理美容サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	巡回入浴サービス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★軽度障害者入浴	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	障害者歯科健康診査・診療	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★福祉講座 (障害者地域自立生活支援センター)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	24時間緊急時相談支援事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
★福祉タクシー	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない	
社会福祉協議会のサービス	★権利擁護センター 「あんしんさぽーと文京」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★いきいきサービス (ホームヘルプ、食事、緊急通報)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★車いすの貸出し	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★福祉車両の貸し出し	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない
	★ファミリーサポートセンター	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ・わからない

1 2. 災害対策・情報提供について

問 47 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何でしたか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 災害の情報を得ることができなかった
- 2 自力で避難することができなかった
- 3 家族やヘルパー等の介助者と連絡を取ることができなかった
- 4 利用している施設等の利用時間が短縮された
- 5 物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった
- 6 エレベーターや電車等の乗物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった
- 7 特になし
- 8 その他（ ）

問 48 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 災害の情報を得ることができない
- 2 災害の発生などを消防署や周囲の人へ連絡できない
- 3 初期消火ができない
- 4 自力で避難できない
- 5 知らない人と一緒に過ごすことに不安があり、避難所で生活することができない
- 6 障害者向けに設備が整っていないと避難所で生活できない（トイレや段差等）
- 7 介助者がいないと避難所で生活できない
- 8 避難所での、障害のために必要となる特別なスペースの確保
- 9 医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保
- 10 自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保
- 11 その他（ ）
- 12 特になし
- 13 わからない

問 49-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。

（1つに○）

- 1 登録している
- 2 登録していないが、今後登録したい
- 3 登録していないが、今後も登録したくない
- 4 災害時要援護者名簿について知らない

災害時要援護者名簿

災害時に自力で避難することが困難な方（災害時要援護者）を発災時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

問 49-② 問 49-①で「3 登録したくない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 個人情報等を区に提出することに抵抗があるから
- 2 手続きする時間がないから
- 3 災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから
- 4 よくわからないから
- 5 登録する具体的なメリットがない(わからない)から
- 6 その他()

問 50 区が実施している障害者に対するサービスなどの情報は、あなたに届いていますか。

情報源となっているものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 区の窓口 | 8 身体障害者相談員 |
| 2 区報 | 9 障害者団体 |
| 3 区のホームページ、ツイッター | 10 障害者福祉のてびき |
| 4 民生委員・児童委員 | 11 テレビ・新聞 |
| 5 家族・友人 | 12 その他() |
| 6 ケアマネジャー | 13 情報が届いていない |
| 7 施設の支援員 | |

問 51 あなたが必要な情報を得たいときに、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 パソコン等の使い方が分からずインターネットの情報を得られない
- 2 情報を集めるための介助者が近くにいない
- 3 点字、SPコード、手話通訳などの情報支援体制が十分でない
- 4 どのように情報を得たらよいか分からない
- 5 その他()
- 6 特に困ることはない

13. 生活のしづらさについて

問 52 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。

障害者が生活する中で不便と感じていることについて、以下の4つのバリア（＝“不便なこと・困ること”）に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。

4つのバリア (4つのうちいずれか1つに○をつけてください)	不便と感ずること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビや分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア（心の壁）

問 53 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 乗物や施設がバリアフリー化されていない
- 2 歩道の幅が狭く、安全に通れない
- 3 障害を理由とした資格取得の制限や大学入学等での制限があった（ある）
- 4 テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない
- 5 視覚に頼って読む・操作するものが多い（デジタル表示やタッチパネルなど）
- 6 困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある
- 7 外出時に周囲の視線が気になる
- 8 障害への理解不足により、学校や職場で自分が傷つく言動にあった
- 9 店やレストランでの入店拒否
- 10 周りの人（介助者、施設の職員、職場の人等）から痛い思い・辛い思いをさせられた
- 11 その他（ ）

問 54 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 研修・講演会等の開催
- 2 パンフレット等での周知啓発
- 3 障害者と地域との交流の機会の増加
- 4 子どものころからの障害児・者との交流
- 5 障害児が地域の学校などに通えること
- 6 学校での福祉教育の推進
- 7 職場での障害理解の促進
- 8 障害者の社会活動の推進
- 9 その他 ()

13. 要望事項

問 55 今後力を入れて欲しい施策や要望をお答えください。

(特にあてはまるものを5つまで○)

- 1 相談支援事業の充実
- 2 障害福祉サービス等の充実
- 3 通所施設の整備
- 4 グループホームの誘致
- 5 就労支援や職業訓練の充実
- 6 機能訓練回復事業の充実
- 7 緊急一時保護事業
- 8 障害者のための住宅施策の充実
- 9 医療費の軽減・医療制度の充実
- 10 道路・交通機関・公共機関の整備 (バリアフリー)
- 11 より分かりやすい情報の提供
- 12 障害者が参加できる講座等の充実
- 13 障害及び障害者についての理解促進
- 14 障害者と地域の人との交流の促進
- 15 スポーツ・レクリエーション活動・文化活動の充実
- 16 ボランティアの育成・支援
- 17 障害者に配慮した防犯・防災対策の推進
- 18 その他 ()

最後に本人・ご家族の方にかがいます

【自由意見】

問 56 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

平成 25 年 10 月 21 日(月)までに、ポストに投函してください。

特別な支援・配慮を必要とするお子さんについての調査

就学前児童

1. あて名のお子さんとそのご家族について

問1 あて名のお子さんの性別と年齢をお答えください。

〔性別〕 1 男 2 女

〔年齢〕 _____ 歳 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

問2-① あて名のお子さんは障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○) 申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳を持っている (_____ 級) 【申請中】
- 2 愛の手帳を持っている (_____ 度) 【申請中】
- 3 精神障害者保健福祉手帳を持っている (_____ 級) 【申請中】
- 4 手帳を持っていない

問2-② 問2-①で「4 手帳を持っていない」を選んだ方にお聞きします。手帳をお持ちでない理由について、次のうちからあてはまるものをお選びください。(1つに○)

- 1 障害があるかどうかははっきりしないから
- 2 申請の手続きが大変だから
- 3 手帳を持つメリットが分からないから
- 4 まだ申請する必要があるから
- 5 その他 (_____)

問3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をお選びください。(1つに○)

- 1 母親 3 祖父母
- 2 父親 4 その他 (_____)

問4 あて名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。(1つに○。続柄はお子さんから見た関係です)

- 1 父母ともに 4 主に祖父母
- 2 主に母親 5 その他 (_____)
- 3 主に父親

問5 保護者の方の現在の就労状況について、次の中からあてはまるものを選んでください（1つに○）

（1）母親の就労状況について【父子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

（2）父親の就労状況について【母子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問6 あなたを含め、お子さんと同居している家族はどなたですか。

（あてはまるものすべてに○。続柄はお子さんからみてのものです。）

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 1 母親 | 4 兄弟姉妹 |
| 2 父親 | 5 その他（ ） |
| 3 祖父母 | |

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5 いずれもない

2. 幼稚園・保育園等での生活について

問8 平日の昼間、あて名のお子さんは次のうちのどちらに通われていますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 1 区立幼稚園 | 4 私立幼稚園・私立保育園 |
| 2 区立保育園 | 5 その他（ ） |
| 3 福祉センター | |

【以下問9～11は問8で「1・2 お子さんが区立幼稚園・区立保育園に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

お子さんが福祉センターにのみ通園されている方や併用先が私立幼稚園・私立保育園の方については、問12にお進みください】

問9 あて名のお子さんが区立幼稚園や区立保育園での生活を送る上で、保護者として特に関心のあることを次のうちからお選びください。

(特にあてはまるものを3つまで○)

- 1 教員や保育士の指導方針
- 2 教員や保育士の子どもに接する態度
- 3 子どもの学力(かんたんな読み、書き、数についての能力)の向上
- 4 子ども生活能力(身の回りのことや生活習慣の獲得など)の向上
- 5 子ども社会的能力(コミュニケーションや社会性などを身に付けること)の向上
- 6 幼稚園や保育園の施設設備などの環境
- 7 他の子どもたちとの交流
- 8 幼稚園や保育園の行事(運動会、お祝い会など)への参加
- 9 保護者会などの園の会合への参加
- 10 障害があることに対する他の保護者の理解
- 11 その他()

問10 区立幼稚園や区立保育園には週に何日(平均で)通っていますか。

()日

問11 区立幼稚園・保育園での1日あたりの保育時間は平均で何時間ですか。

(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 2時間以内 | 3 5～6時間 | 5 9時間以上 |
| 2 3～4時間 | 4 7～8時間 | |

【ここからは、お子さんが福祉センターに通園している保護者の方にお聞きします】

問12 福祉センターには週に何日通っていますか。

()日

問13 福祉センターの通園に対して、保護者として特に関心のあることを次のうちからお選びください。(特にあてはまるものを3つまで○)

- | | |
|--|--------------------|
| 1 福祉センター担任など職員の支援方針 | 7 福祉センター周辺の環境 |
| 2 担任など職員の子どもに接する態度 | 8 福祉センターのほかの児童との関係 |
| 3 相談支援職員や専門職(心理士、理学療法・作業療法士、言語聴覚士、医師等)による相談や訓練 | 9 福祉センターの行事 |
| 4 福祉センターにおける吸引などの医療的ケア | 10 送迎について |
| 5 保育園や幼稚園等との連携 | 11 保護者会などの会合 |
| 6 福祉センターの施設設備 | 12 その他() |

【ここからは全ての方にお聞きします】

問 14-① 現在の区立幼稚園・保育園や福祉センターでの保育や支援について、どのよう
に感じていますか。あて名のお子さんが通われているすべての施設について、枠
の中にあてはまる数字を下記より選び、1つ番号を記入してください。

	区立幼稚園	区立保育園	福祉センター
番号を記載⇒			

- 1 とても満足している
- 2 ほぼ満足している
- 3 個々に応じた支援がなされているが十分ではない
- 4 個々に応じた支援がされているとあまり感じない
- 5 わからない

問 14-② **問 14-①で「3・4 個々に応じた支援がされていると十分に／あまり感じない」
を選択した方にお聞きします。**

その問題を解決するにはどうすればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1 職員の質の向上 | 4 療育機関の増加 |
| 2 職員の人数の増加 | 5 わからない |
| 3 部屋の数、構造等の改築等
による施設内の整備 | 6 その他() |

問 14-③ **問 14-①で「3・4 個々に応じた支援がされていると十分に／あまり感じない」
を選択した方にお聞きします。** 区立幼稚園・保育園、福祉センターの保育や支
援について、その他ご意見等がありましたらご記入ください。

ご意見等：

3. 日々の生活について

問 15 幼稚園、保育園、福祉センターからの帰宅後や通っていない日（土曜や日曜、夏休
み中など）、あて名のお子さんはどのように過ごすことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅で家族といることが多い
- 2 親戚・友人・知人の家など自宅外にすることが多い
- 3 家族が付き添って公園などで遊んだり、買い物等で外出することが多い
- 4 一時保育を利用している
- 5 ファミリー・サポートを利用している
- 6 その他()

問 16-① あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している区の一時的預かり事業はありますか。

ある場合は、あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

1年間で利用している事業（あてはまるものすべてに○）	1年間の利用日数
1 一時保育所（キッズルーム）での一時預かり （キッズルームシビック・キッズルーム目白台で一時的に子どもを保育する事業）	日
2 保育園での一時預かり （区立保育園で実施している、緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業）	日
3 幼稚園での預かり保育（一時預かり） （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
4 ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	日
5 ベビーシッター （子育て支援ホームヘルパー派遣事業など）	日
6 区の短期保護（ショートステイ）事業	日
7 その他（ ）	日
8 利用していない	

問 16-② 問 16-①で「8 利用していない」を選んだ方にお聞きします。

現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 特に利用する必要がない
- 2 利用したい事業が地域にない
- 3 地域の事業の質に不安がある
- 4 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
- 5 空きがないなど利用したいときに利用しにくい
- 6 利用料の負担
- 7 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
- 8 事業の利用方法（手続き等）がわからない
- 9 その他（ ）

問 17-① あて名のお子さんについて、**私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要がある**と思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。

※ なお、事業の利用にあたっては、1時間（1回）500円～1,000円程度の利用料がかかります。

		必要な日数
1 利用したい 【理由に○をつけてください】	ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	計 日
	イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	日
	ウ 不定期の就労	日
	エ その他（ ）	日
2 利用する必要はない		

問 17-② 問 17-①で「1. 利用したい」を選んだ方にお聞きします。

問 17-①の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまるものすべてに○）

1 一時保育所（キッズルーム）での一時預かり （キッズルームシビック・キッズルーム目白台で一時的に子どもを保育する事業）
2 保育園での一時預かり （区立保育園で実施している、緊急一時保育事業・リフレッシュ保育事業）
3 幼稚園での預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）
4 ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）
5 ベビーシッター （子育て支援ホームヘルパー派遣事業など）
6 区の短期保護（ショートステイ）事業
7 その他（ ）

問 18 あて名のお子さんはふだん（いくつの）医療機関にかかっていますか。

- 1 かかっている（ ）か所 2 かかっていない

問 19 あなたがあて名のお子さんとの外出の際に、困ること・困ったことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
- 2 歩道や段差などがベビーカー等や自転車の通行の妨げになっていること
- 3 交通機関や建物がベビーカー等での移動に配慮されていないこと
- 4 トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと
- 5 荷物や子どもに手を取られて困っている時に、手を貸してくれる人が少ないこと
- 6 レストラン・公共の乗り物等で座ってられない・待つことが難しいこと
- 7 目に入ったものに向かって衝動的に走り出してしまうなどの危険があること
- 8 パニック等で混乱してしまった時の対応や周囲の視線が気になること
- 9 同じ道順でないといけない等のこだわりによる移動範囲・順路の制限があること
- 10 知らない人に対して子どもが話しかけてしまうこと
- 11 その他()
- 12 特に困ること・困ったことはない

問 20 小学校に就学した後、学童保育事業（育成室）を利用したいと考えていますか。

(1つに○)

※ 学童保育事業とは、保護者が日中就労しているなどのために家庭で保護が受けられない児童を、放課後、児童館や学校内等にある育成室でお預かりし、専任の職員が遊びを中心とした生活指導を行う事業のことです。

- 1 利用したい
- 2 利用する予定はない
- 3 わからない

4. 子育てにおける悩み、不安に思っていること、支援策について

問 21 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

- 1 楽しいと感じることの方が多い
- 2 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
- 3 つらいと感じることの方が多い
- 4 その他()
- 5 わからない

問 22 あなたが感じている子育てにおける悩みや不安について、あてはまるものをお選びください。(特にあてはまるものを5つまで○)

- 1 自分の時間が取れず、自由がないこと
- 2 子育てに追われ、社会から孤立するようになること
- 3 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい
- 4 子育ては親の責任と言われ、不安と負担を感じる事
- 5 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違うこと
- 6 配偶者の子育てへの関わりが少ないこと
- 7 子どもへの接し方・関わり方(コミュニケーション)がわからないこと
- 8 子どもの成長や発達について
- 9 子どもの就学や進路について
- 10 子どもの健康について
- 11 (お子さんの)兄弟姉妹の子育て
- 12 障害への周囲の理解
- 13 障害に対する相談機関がどこかわからないこと
- 14 身近なところに相談者がいない
- 15 子育てや医療費に係る経済的な負担が大きい
- 16 その他 ()
- 17 特に不安や悩みはない

問 23 あて名のお子さんのことで相談する場合、どなたに相談しますか。(1つに○)

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 幼稚園・保育園の他の保護者
- 4 幼稚園・保育園の園長・担任
- 5 福祉センターの担任や相談支援職員・専門職
- 6 教育センターの相談員
- 7 保健所・保健サービスセンター
- 8 子育て支援センター・子育て広場
- 9 かかりつけの医師、保健師、看護師などの医療の専門家
- 10 民生委員・児童委員
- 11 その他 ()
- 12 相談できる人がいない

5. 災害対策について

問 26 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 子どもや家族と連絡をとることができない
- 2 子どもの所在がわからない
- 3 交通機関等が止まったことなどにより、子どもをすぐに迎えに行くことが出来ない
- 4 電車やエレベーター等の乗り物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった
- 5 災害の情報を得ることが出来ない
- 6 利用している施設等の利用時間が短縮された
- 7 物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった
- 8 その他（ ）

問 27 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 子どもを連れて避難できるか不安
- 2 保護者の就労等で一緒にいない時の、子どもの安否確認
- 3 （お子さんと一緒にいない場合）子どもと再会できるかどうか
- 4 避難所等慣れない場所で子どもが過ごせるかどうか（パニック等混乱してしまった時の対応）
- 5 避難所等の段差や階段、トイレなど設備面についての不安
- 6 避難所での、障害のために必要となる特別なスペースの確保
- 7 避難所での支援者がいるかどうかわからない
- 8 医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保
- 9 自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保
- 10 その他（ ）
- 11 特になし
- 12 わからない

問 28-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。

（1つに○）

- 1 登録している
- 2 登録していないが、今後登録したい
- 3 登録していないが、今後も登録したくない
- 4 災害時要援護者名簿について知らない

災害時要援護者名簿

災害時に自力で避難することが困難な方（災害時要援護者）を発災時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

問 28-② 問 28-①で「3 登録したくない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 個人情報や区に提出することに抵抗があるから
- 2 手続きする時間がないから
- 3 災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから
- 4 よくわからないから
- 5 登録する具体的なメリットがない(わからない)から
- 6 その他()

6. 生活のしづらさについて

問 29 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。

障害者が生活する中で不便と感じる事柄について、以下の4つのバリア(=“不便なこと・困ること”)に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。**いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。**

4つのバリア (4つのうちいずれか1つに○をつけてください)	不便と感じること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビや分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア(心の壁)

問 30 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 乗物や施設がバリアフリー化されていない
- 2 歩道の幅が狭く、安全に通れない
- 3 障害を理由とした資格等の取得の制限
- 4 テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない
- 5 視覚に頼って読む・操作するものが多い(デジタル表示やタッチパネルなど)
- 6 困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある
- 7 外出時に周囲の視線が気になる
- 8 障害への理解不足により、子どもや保護者が傷つく言動にあった
- 9 店やレストランでの入店拒否
- 10 その他()

問 31 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1 研修・講演会等の開催 | 5 障害児が地域の学校などに通うこと |
| 2 パンフレット等での周知啓発 | 6 学校での福祉教育の推進 |
| 3 障害者と地域との交流の機会の増加 | 7 職場での障害理解の促進 |
| 4 子どものころからの
障害者・児との交流 | 8 障害者の社会活動の推進 |
| | 9 その他 () |

問 32 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。

【自由意見】

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

平成 25 年 10 月 21 日(月)までに、ポストに投函してください。

特別な支援を必要とするお子さんについての調査 就学後児童

1. あて名のお子さんとそのご家族について

問1 あて名のお子さんの性別と年齢をお答えください。

〔性別〕 1 男 2 女

〔年齢〕 _____ 歳（平成25年10月1日現在）

問2-① あて名のお子さんは障害者手帳をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）
申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

- 1 身体障害者手帳を持っている（_____級）【申請中】
- 2 愛の手帳を持っている（_____度）【申請中】
- 3 精神障害者保健福祉手帳を持っている（_____級）【申請中】
- 4 手帳を持っていない

問2-② 問2-①で「4 手帳を持っていない」を選んだ方にお聞きします。手帳をお持ちでない理由について、次のうちからあてはまるものをお選びください。

（1つに○）

- 1 障害があるかどうかはつきりしないから
- 2 申請の手続きが大変だから
- 3 手帳を持つメリットが分からないから
- 4 まだ申請する必要があるから
- 5 その他（_____）

問3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係をお選びください。（1つに○）

- 1 母親 3 祖父母
- 2 父親 4 その他（_____）

問4 あて名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。（1つに○。続柄はお子さんから見た関係です）

- 1 父母ともに 4 主に祖父母
- 2 主に母親 5 その他（_____）
- 3 主に父親

問5 保護者の方の現在の就労状況について、次の中からあてはまるものを選んでください（1つに○）

（1）母親の就労状況について【父子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

（2）父親の就労状況について【母子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

問6 あなたを含め、お子さんと同居している家族はどなたですか。

（あてはまるものすべてに○。続柄はお子さんからみてのものです。）

- | | |
|-------|----------------------------|
| 1 母親 | 4 兄弟姉妹 |
| 2 父親 | 5 その他（ ） |
| 3 祖父母 | |

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5 いずれもない

2. 学校の通学、学校生活について

問8 平日の昼間、あて名のお子さんは次のうちのどちらに通われていますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1 区立小学校（特別支援学級） | 5 区立小学校（通常の学級） |
| 2 区立中学校（特別支援学級） | 6 区立中学校（通常の学級） |
| 3 区立小学校（通級指導学級） | 7 （都立・国立）特別支援学校 |
| 4 区立中学校（通級指導学級） | 8 その他（ ） |

問9 あて名のお子さんが学校生活（通級指導学級の場合はその学級での生活も含みます）を送る上で、保護者として特に関心のあることを次のうちからお選びください。（特にあてはまるものを3つまで○）

- 1 教員の指導方針
- 2 教員などが子どもに接する態度
- 3 子どもの学力の向上
- 4 子どもの生活能力（身の回りのことや生活習慣の獲得）の向上
- 5 子どもの社会的能力（コミュニケーションや社会性などを身に付けること）の向上
- 6 学校で使う教科書
- 7 学校の施設設備などの環境
- 8 他の障害をもつ子どもたちとの交流
- 9 通常の学級の子どもたちとの交流
- 10 学校の行事（運動会、林間・臨海学校等）への参加
- 11 学校への送り迎え
- 12 保護者会などの会合への参加
- 13 障害があることに対する他の保護者の理解
- 14 その他（ ）

問10 お子さんは学校への通学（通級指導学級の場合はその学級への通学も含む）をどのように行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------|-------|-------------|
| 1 徒歩 | 3 地下鉄 | 5 学校のスクールバス |
| 2 公営バス | 4 JR | 6 その他（ ） |

問11-① 学校生活等において、あて名のお子さん自身の不安や悩みには、どのようなものがありますか（あると思われますか）。（あてはまるものすべてに○）

【お子さん自身が回答できる場合は、ご本人がお選びください。】

- | | |
|------------|---------------|
| 1 勉強や進路のこと | 5 自分の健康や病気のこと |
| 2 先生との関係 | 6 その他（ ） |
| 3 友達との関係 | 7 特に不安や悩みはない |
| 4 家族との関係 | 8 わからない |

* お子さん自身が回答した場合は右枠の中に○をつけてください



問11-② お子さんの学校生活について、保護者として感じる不安や悩みは主にどなたに相談しますか。（1つに○。通級指導学級の場合はその学級への通学も含みます）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 在籍校の担任の先生 | 6 教育委員会（教育指導課・学務課） |
| 2 通級指導学級の担任の先生 | 7 教育センターの相談員 |
| 3 在籍校の校長先生か副校長先生 | 8 その他（ ） |
| 4 通級指導学級の校長先生か副校長先生 | 9 このなかにはいない |
| 5 スクールカウンセラー | |

問 11-③ 問 11-①でお子さん自身が回答した方にお聞きします。あて名のお子さん本人は
学校生活の不安や悩みを主にどなたに相談しますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 父母 | 5 スクールカウンセラー |
| 2 兄弟姉妹 | 6 その他 () |
| 3 担任の先生 | 7 相談する相手はいない |
| 4 通級指導学級の担任の先生 | |

3. 放課後の過ごし方、日々の生活について

問 12 あて名のお子さんは、放課後をどのように過ごすことが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 自宅で家族といることが多い
- 2 親戚・友人・知人の家など自宅外にいることが多い
- 3 外で友達と遊んでいることが多い
- 4 育成室を利用している
- 5 習い事等に通う
- 6 放課後等デイサービス事業を利用している
- 7 放課後居場所対策事業を利用している
- 8 その他 ()

【問 12 で「4 育成室を利用している」を選択した方についてお聞きします】

問 13 週にどのくらい育成室に通っていますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1 日曜を除く毎日 | 2 週に4～5日 | 3 週に3～4日 |
|-----------|----------|----------|

問 14 あて名のお子さんが育成室での生活を送る上で、特に重要なことだと思えることを
次のうちからお選びください。(特にあてはまるものを2つまで○)

- 1 育成室職員の指導方針
- 2 育成室職員などの子どもに接する態度
- 3 子どもの社会的能力(コミュニケーションや社会性などを身に付けること)の向上
- 4 同じ育成室の障害のある児童との交流
- 5 同じ育成室の他の子どもたちとの交流
- 6 育成室の行事を通じた交流
- 7 学校から育成室への通室
- 8 保護者会などを通じた保護者同士の交流
- 9 その他 ()

【ここからは、すべての方にお聞きします】

問 19 あなたがあて名のお子さんとの外出の際に、困ること・困ったことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
- 2 歩道や段差などが車いす等や自転車の通行の妨げになっていること
- 3 交通機関や建物が車いす等での移動に配慮されていないこと
- 4 荷物や子どもに手を取られて困っている時に、手を貸してくれる人が少ないこと
- 5 レストラン・公共の乗り物等で座ってられない・待つことが難しいこと
- 6 目に入ったものに向かって衝動的に走り出してしまうなどの危険があること
- 7 パニック等で混乱してしまった時の対応や周囲の視線が気になること
- 8 同じ道順でないといけない等のこだわりによる移動範囲・順路の制限があること
- 9 知らない人に対して、子どもが誰にでも話しかけてしまうこと
- 10 その他()
- 11 特に困ること・困ったことはない

4. 子育てにおける悩み、不安に思っていること、支援策について

問 20 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。(1つに○)

- 1 楽しいと感じることの方が多い
- 2 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
- 3 つらいと感じることの方が多い
- 4 その他()
- 5 わからない

問 21 あなたが感じている子育てにおける悩みや不安について、あてはまるものをお選びください。(特にあてはまるものを5つまで○)

- 1 自分の時間が取れず、自由がないこと
- 2 子育てに追われ、社会から孤立するようになること
- 3 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい
- 4 子育ては親の責任と言われ、不安と負担を感じる事
- 5 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違うこと
- 6 配偶者の子育てへの関わりが少ないこと
- 7 子どもへの接し方・関わり方(コミュニケーション)がわからないこと
- 8 子どもの成長や発達について
- 9 子どもの就学や進路について
- 10 子どもの健康について
- 11 (お子さんの)兄弟姉妹の子育て
- 12 障害への周囲の理解
- 13 障害に対する相談機関がどこかわからないこと
- 14 身近なところに相談者がいない
- 15 子育てや医療費に係る経済的な負担が大きい
- 16 その他 ()
- 17 特に不安や悩みはない

問 22 あて名のお子さんの子育てについて相談する場合、どなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 1 親族・家族 | 8 教育委員会(教育指導課・学務課) |
| 2 友人・知人 | 9 スクールカウンセラー |
| 3 学校の他の保護者 | 10 かかりつけの医師、保健師、
看護師などの医療の専門家 |
| 4 学校の校長・副校長 | 11 民生委員、児童委員 |
| 5 学校の担任 | 12 その他 () |
| 6 学校の養護教諭 | |
| 7 教育センターの相談員 | |

問 23 子育てに関する相談等の支援サービスで、知っているものやこれまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

各サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「1. はい」、「2. いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに 利用したことが ある	C 今後利用したい
ア. 保健サービスセンターの 相談サービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
イ. 家庭教育に関する学級・講座	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
ウ. 教育センター・教育相談室	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
エ. 福祉センターこどもの発達相談	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ
オ. 子ども家庭支援センターの 相談サービス	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ	1 はい 2 いいえ

問 24 特別な支援を必要とするお子さんを持つ家庭に対する支援策として、充実させてほしいものや取り組んでほしいものについて、次のうちからお選びください。

(特にあてはまるものを5つまで○)

- 1 教員の資質の向上
- 2 福祉と教育の連携体制の充実
- 3 通常の学級との交流学习の充実
- 4 放課後等の居場所対策の充実
- 5 スポーツ・レクリエーション活動・文化活動の充実
- 6 子どもの個別支援プログラムの作成
- 7 子どもの成長や進路についての情報の充実
- 8 相談支援体制の充実
- 9 児童虐待への対策
- 10 学校施設の設備の充実
- 11 保健、医療サービスの充実
- 12 手当や給付などの経済的支援
- 13 通学等での移動支援の充実
- 14 その他 ()

5. 災害対策について

問 25 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 子どもや家族と連絡をとることができない
- 2 子どもの所在がわからない
- 3 交通機関等が止まったことなどにより、子どもをすぐに迎えに行くことが出来ない
- 4 電車やエレベーター等の乗り物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった
- 5 災害の情報を得ることが出来ない
- 6 利用している施設等の利用時間が短縮された
- 7 物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった
- 8 その他（ ）

問 26 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 子どもを連れて避難できるか不安
- 2 保護者の就労等で一緒にいない時の、子どもの安否確認
- 3 （お子さんと一緒にいない場合）子どもと再会できるかどうか
- 4 避難所等慣れない場所で子どもが過ごせるかどうか（パニック等混乱してしまった時の対応）
- 5 避難所等の段差や階段、トイレなど設備面についての不安
- 6 避難所での、障害のために必要となる特別なスペースの確保
- 7 避難所での支援者がいるかどうかわからない
- 8 医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保
- 9 自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保
- 10 その他（ ）
- 11 特になし
- 12 わからない

問 27-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。

（1つに○）

- 1 登録している
- 2 登録していないが、今後登録したい
- 3 登録していないが、今後も登録したくない
- 4 災害時要援護者名簿について知らない

災害時要援護者名簿

災害時に自力で避難することが困難な方（災害時要援護者）を発災時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

問 27-② 問 27-①で「登録したくない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 個人情報や区に提出することに抵抗があるから
- 2 手続きする時間がないから
- 3 災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから
- 4 よくわからないから
- 5 登録する具体的なメリットがない(わからない)から
- 6 その他()

6. 生活のしづらさについて

問 28 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。

障害者が生活する中で不便と感じる事柄について、以下の4つのバリア(=“不便なこと・困ること”)に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。

4つのバリア (4つのうちいずれか1つに○をつけてください)	不便と感じること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビや分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア(心の壁)

問 29 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 乗物や施設がバリアフリー化されていない
- 2 歩道の幅が狭く、安全に通れない
- 3 障害を理由とした資格等の取得の制限
- 4 テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない
- 5 視覚に頼って読む・操作するものが多い(デジタル表示やタッチパネルなど)
- 6 困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある
- 7 外出時に周囲の視線が気になる
- 8 障害への理解不足により、子どもや保護者が傷つく言動にあった
- 9 店やレストランでの入店拒否
- 10 その他()

問 30 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 研修・講演会等の開催 | 6 学校での福祉教育の推進 |
| 2 パンフレット等での周知啓発 | 7 職場での障害理解の促進 |
| 3 障害者と地域との交流の機会の増加 | 8 障害者の社会活動の推進 |
| 4 子どものころからの障害者・児との交流 | 9 その他 () |
| 5 障害児が地域の学校などに通うこと | |

問 31 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見
などがありましたら、自由にお書きください。

【自由意見】

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに

平成 25 年 10 月 21 日(月)までに、ポストに投函してください。

文京区障害者(児)実態・意向調査報告書

平成 26 年 3 月
印刷物番号：F0313092
有償頒布価格 940 円

編集・発行 文京区 福祉部障害福祉課
保健衛生部予防対策課
〒112-8555 東京都文京区春日 1-16-21
電話 03-3812-7111 (代表)
調 査 株式会社 社会構想研究所

再生紙を利用しています。